

(報告)

府立中学校教科用図書の採択について

京都府立学校の管理運営に関する規則第 14 条の規定による府立中学校教科用図書の採択について、下記のとおり報告します。

令和 6 年 11 月 11 日

教育長 前川 明範

記

1 対象中学校

京都府立洛北高等学校附属中学校
京都府立園部高等学校附属中学校
京都府立福知山高等学校附属中学校
京都府立南陽高等学校附属中学校

2 令和 6 年度京都府教科用図書選定審議会からの答申

京都府教育委員会は、令和 6 年 4 月 19 日付け令和 6 年度京都府教科用図書選定審議会答申「令和 7 年度使用中学校、義務教育学校（後期課程）、特別支援学級及び特別支援学校（小・中学部）の教科用図書の採択基準及び基本観点について」及び令和 6 年 6 月 20 日付け令和 6 年度京都府教科用図書選定審議会答申「選定に必要な資料について（中学校）」により作成された選定資料に基づいて採択すること。

なお、高等学校の教育課程との連携に注意するなど、中高一貫教育のねらいを十分踏まえること。

3 経過

府立中学校の教科用図書の採択権限は京都府教育委員会にあるが、採択に当たっては、各府立中学校において京都府教育委員会から送付した「選定資料」等を参考に、自校で使用するのに最もふさわしい教科書について調査研究がされ、教科書の推薦がされたところである。

学校教育課において、上記 2 の答申を踏まえ、各校の教育目標や教育課程の特色を考慮し、推薦された教科書を慎重に審査し、府立中学校において令和 7 年度から使用する教科書について別紙のとおり取りまとめた。

4 関係法令

義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第 13 条

2 都道府県立の義務教育諸学校において使用する教科用図書の採択は、あらかじめ選定審議会の意見をきいて、種目ごとに一種の教科用図書について行なうものとする。

3 公立の中学校で学校教育法第七十一条の規定により高等学校における教育と一貫した教育を施すもの及び公立の中等教育学校の前期課程において使用する教科用図書については、市町村の教育委員会又は都道府県の教育委員会は、前二項の規定にかかわらず、学校ごとに、種目ごとに一種の教科用図書の採択を行うものとする。

〈別紙〉

京都府立高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書

教科・種目	洛北高等学校附属中学校		園部高等学校附属中学校		福知山高等学校附属中学校		南陽高等学校附属中学校	
	発行者	教科書名	発行者	教科書名	発行者	教科書名	発行者	教科書名
国語	東書	新編 新しい国語	光村	国語	東書	新編 新しい国語	東書	新編 新しい国語
書写	東書	新編 新しい書写	教出	中学書写	東書	新編 新しい書写	光村	中学書写
社会(地理的分野)	帝国	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土	帝国	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土	帝国	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土	帝国	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土
社会(歴史的分野)	帝国	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き	帝国	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き	山川	中学歴史 日本と世界 改訂版	山川	中学歴史 日本と世界 改訂版
社会(公民的分野)	東書	新編 新しい社会 公民	帝国	社会科 中学生の公民 よりよい社会をめざして	東書	新編 新しい社会 公民	東書	新編 新しい社会 公民
地図	帝国	中学校社会科地図	帝国	中学校社会科地図	帝国	中学校社会科地図	帝国	中学校社会科地図
数学	数研	これからの 数学	数研	これからの 数学	数研	これからの 数学	啓林館	未来へひろがる数学
理科	東書	新編 新しい科学	啓林館	未来へひろがるサイエンス	学図	中学校 科学	学図	中学校 科学
音楽(一般)	教芸	中学生の音楽	教芸	中学生の音楽	教芸	中学生の音楽	教芸	中学生の音楽
音楽(器楽合奏)	教芸	中学生の器楽	教芸	中学生の器楽	教芸	中学生の器楽	教芸	中学生の器楽
美術	日文	美術	日文	美術	光村	美術	日文	美術
保健体育	学研	新・中学保健体育	東書	新編 新しい保健体育	学研	新・中学保健体育	大修館	最新 中学校保健体育
技術・家庭(技術)	開隆堂	技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて	東書	新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology	東書	新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology	東書	新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology
技術・家庭(家庭)	開隆堂	技術・家庭 家庭分野 自立しともに支え合う生活へ	開隆堂	技術・家庭 家庭分野 自立しともに支え合う生活へ	東書	新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して	教図	新 技術・家庭 家庭分野 暮らしを創造する
英語	光村	Here We Go! ENGLISH COURSE	三省堂	NEW CROWN English Series	三省堂	NEW CROWN English Series	啓林館	BLUE SKY English Course
特別の教科 道徳	日文	中学道徳 あすを生きる	光村	中学道徳 きみがいちばんひかるとき	あか図	中学生の道徳	東書	新編 新しい道徳

令和7年度京都府立洛北高等学校附属中学校使用教科用図書一覧

令和7年度から使用開始

教科・種目	発行者	教科書名
国 語	東京書籍	新編 新しい国語
書 写	東京書籍	新編 新しい書写
社会(地理的分野)	帝国書院	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土
社会(歴史的分野)	帝国書院	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き
社会(公民的分野)	東京書籍	新編 新しい社会 公民
地 図	帝国書院	中学校社会科地図
数 学	数研出版	これからの 数学
理 科	東京書籍	新編 新しい科学
音楽(一般)	教育芸術社	中学生の音楽
音楽(器楽合奏)	教育芸術社	中学生の器楽
美 術	日本文教出版	美術
保健体育	Gakken	新・中学保健体育
技術・家庭(技術分野)	開隆堂出版	技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて
技術・家庭(家庭分野)	開隆堂出版	技術・家庭 家庭分野 自立しともに支え合う生活へ
英 語	光村図書出版	Here We Go! ENGLISH COURSE
特別の教科 道徳	日本文教出版	中学道徳 あすを生きる

洛北高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択について

1 採択にかかる主な調査内容

(1) 教育目標や教育課程の特色

本校では、自然科学への基本的な素養を身につけ、その考え方や学び方の理解を深めることを目指している。このため、科学的なものの見方や考え方の育成を図る工夫について調査した。

(2) 中高一貫教育校としての教育課程編成

本校では、中高6年間を見通した教育課程を編成している。このため、発展的な内容についても高校との接続について工夫されているか調査した。

(3) 活用する力の育成

思考力、判断力、表現力等の育成に関する教材の工夫について調査した。

2 採択案

教科・種目	発行者	教科書名	採択理由
国 語	東書	新編 新しい国語	※育成する「言葉の力」に対応する目標等を明示し、学習を進める上で着目すべき点が分かるよう工夫している。 ※古典作品のあらすじや歴史的背景を、色彩豊かな絵巻や資料性の高い図版とともに掲載している。
書 写	東書	新編 新しい書写	※日本の伝統産業や文化に親しみ、興味を持つよう工夫している。 ※高等学校芸術科書道の履修につながる中国や日本の古典資料を掲載している。
社会 (地理的分野)	帝国	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土	※「学習を振り返ろう」の中で、思考力・判断力・表現力や主体的な学びの育成を図る工夫がある。 ※地域的特色を環境保全の視点を中心に追究する構成は、地域の課題を見出し考察する探究型の学習に活かすことができる。
社会 (歴史的分野)	帝国	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き	※多くのコラムやデジタル資料等により、生徒の興味・関心を高め、生徒が自ら学習に取り組みやすいよう工夫している。 ※我が国の文化の学習に関連する教材を豊富に取り上げるとともに、高等学校地理歴史科「世界史」学習の動機付けとなる配慮がある。
社会 (公民的分野)	東書	新編 新しい社会 公民	※思考力、判断力、表現力等の育成を充実させるために、単元を貫く課題を設定し、さらに深める課題も設定している。
地 図	帝国	中学校社会科地図	※多くのグラフに関連させて地域的特色を見出し、その理由などを考察させる学習活動により、科学的な見方や考え方の育成につなげることが可能である。
数 学	数研	これからの 数学	※学習した内容に関連した話題や問題、活動を通して解決するための課題があり、思考力を深めるための工夫がある。 ※より深い学習が可能な発展的な学習内容も取り上げている。
理 科	東書	新編 新しい科学	※生徒の興味・関心を高める工夫や生徒自らが自然現象の規則性を見出せる工夫がある。 ※SDGsや自然災害などに関する内容を取り扱っている。
音楽(一般)	教芸	中学生の音楽	※1年間の学習内容と三つの資質・能力との関連を「学びの地図」のマトリックス表で示し、学びの見通しを持てるよう工夫している。 ※我が国の伝統文化に関連して、和楽器を演奏する姿勢や奏法、礼儀作法などを幅広く掲載している。
音楽 (器楽合奏)	教芸	中学生の器楽	
美 術	日文	美術	※各学年の発達段階を考慮した題材設定をし、表現と鑑賞が一体的に学習できるよう配慮している。 ※題材を貫く主発問を設け、活動のねらいを理解し、自分なりの問いから探究的に学習を深められるよう工夫している。
保健体育	学研	新・中学保健体育	※各章ごとに探究とまとめの問題を配置し、学習内容の理解と発展的な学習ができるよう工夫している。 ※他教科と関連する学習課題や資料を取り扱っている。
技術・家庭 (技術分野)	開隆堂	技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて	※各内容とも始めに基礎的・基本的な知識や技能を学び、各小項目の最後に自己の学びを調整できるようになっている。
技術・家庭 (家庭分野)	開隆堂	技術・家庭 家庭分野 自立しともに支え合う生活へ	※多種多様な実験・実習により、生活の様々な事象を科学的な視点から考え、探究的な学習ができるような工夫がある。
英 語	光村	Here We Go! ENGLISH COURSE	※4技能をバランスよく育成するように配慮されている。 ※基礎・基本の習得から、基礎的な力を活用して長文を読んだり、話したり書いたりする活動まで段階を追って学習できる工夫がある。
道 徳	日文	中学道徳 あすを生きる	※いじめの未然防止が最重要テーマとして設定され、集中的かつ継続的に考えられるよう配慮している。 ※生命、科学等、今日的な課題と捉えることのできる教材が多い。

1 中高一貫教育のねらい

中高一貫教育のねらいは、長い歴史と伝統を踏まえ、6年間の一貫した教育を通して、ゆとりの中で生きる力をはぐくみ、一人一人の感性を磨き、個性を伸ばし、才能を開花させることにあります。

21世紀の社会に大きく羽ばたこうとする若者たちには、自ら考え主体的に行動する力が求められています。そのため、ものごとの本質を見抜く深い洞察力や、課題を解決する鋭い論理的思考力、未来を切り拓く豊かな創造力等が必要とされます。本校では、これらの力を身につけさせるべく教育課程を掲げ、すべての教職員が全力で取り組んでいきます。

2 教育目標

未来を切り拓く強い意志、高い知性、豊かな感性をもつ人間の育成

3 育てたい力

深い洞察力、論理的思考力、豊かな創造力

4 目指す生徒像

- ◆ 世界に羽ばたく大きな志をもった生徒
- ◆ 知的バランスのとれた生徒
- ◆ 心豊かで、礼節をわきまえた生徒

生徒が卒業後にどのような分野に進むとしても、21世紀の社会を主体的に担って行くためには、自然科学の基本的な素養をしっかりと身に付けることが将来への大きな力となります。生徒は、6年間の継続した教育の中で自然科学に親しみ、その考え方や学び方の理解を深めます。

そのため、中高一貫教育の基本コンセプトを「SCIENCE（サイエンス）」としました。このコンセプトに沿って、特色ある教育活動を展開します。

5 教育課程編成方針

6年間を基礎期・充実期・発展期と3つの段階に分け、計画的、系統的、合理的な教育を展開します。基礎期では小学校までの学習をもとに、各教科の専門知識の基礎を固め、さらなる学習の楽しさ、興味を発見します。充実期では中学・高校の授業内容を再構成し発展的学習へステップアップするためのオールラウンドな力を身に付けます。発展期では興味・関心や進路希望に応じた科目を選択して、発展的に学習を行い、進路実現に備えます。

豊富な授業時間数に基づき、6年間を見通した教育課程により、伝統を引き継ぎ、創造的に発展させる、洛北高等学校附属中学校の中高一貫教育がここにあります。

6 洛北サイエンス（学校独自の教科）

仮説・実験・検証など体験的な学習を通して課題解決に当たったの科学的手法を身につけます。大学・企業・研究所などと連携して、専門家に指導を受けたり、直接、施設で体験することにより最先端技術を学びます。

京都府立洛北高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番号	発行者 略称	採 択 理 由
国語	新編 新しい国語	2	東 書	国語科では主体的な学習の進め方、思考力、判断力、表現力等の育成を図る教材の取り扱い、古典作品や資料についても高等学校との関連などの観点から検討し、本書が適切であると考える。 ◇生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる教材 ・問題解決的な言語活動が多く設けられ、生徒同士が助言し合ったり、議論を通して考えを深めたり、互いの考えを活かして結論をまとめたりするなど、協働して学びを深められるように工夫されている。今日の課題として捉えられるテーマを数多く扱っており、「洛北サイエンス」と関連付けて指導することが可能である。【別表4】 ◇思考力・判断力・表現力等の育成を図る教材 ・各教材冒頭の「見通す」で育成する「言葉の力」に対応する目標及び生徒目線で書かれた「問いかけ」が明示され、生徒が何に着目して学習すればよいのか分かるように工夫されている。【別表3】 ◇高等学校との関連 ・折込を用いるなどして、古典作品のあらすじや歴史的背景が、色彩豊かな絵巻や資料性の高い図版とともに掲載されており、古典を深く理解し、鑑賞することができるため、高等学校での学習へ関連付けることが可能である。【別表1】
書写	新編 新しい書写	2	東 書	書写では中高一貫教育の教育課程に関連し、他教科、「総合的な学習の時間」に関連する教材の取り扱い、伝統的な文字文化に関する内容や社会生活と関連した内容の取り扱い、高等学校との関連などの観点から検討し、本書が適切であると考える。 ◇他教科と関連した教材 ・書写に関する用具や用材について動画で作り方を紹介するなど、日本の伝統産業や文化に親しみ、多方面に興味をもつように工夫されている。 ◇伝統的な文字文化や社会生活と関連した教材 ・伝統的な文字文化教材や文字を活用した身の回りの多様な表現として、実際に使われているもの（看板など）の写真や実物例を多数示している。【別表1、5】 ◇高等学校との関連 ・中国や日本の古典とされる書に触れ、文字文化への関心を高めることにより、高等学校芸術科書道との関連を図っている。【別表5】

京都府立洛北高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番号	発行者 略称	採 択 理 由
地理	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土	46	帝国	社会（地理的分野）では、地理的な知識及び技能や思考力、判断力、表現力等の育成などに関する教材の取扱い、中高一貫教育との関連について検討し、本書が適切であると考える。 ◇地理的知識及び技能の育成【別表2】 ・世界や日本の地理的認識を養う内容を豊富な資料を用いて取り上げている。 ・白地図に既習事項を書き込む活動を設定し、基礎的・基本的知識の定着を図る工夫がされている。 ◇思考力、判断力、表現力等の育成【別表3】 ・「学習を振り返ろう」の中で、思考力・判断力・表現力や主体的な学びの育成を図るための問いが設定されている。 ◇生徒が主体的に学習に取り組むことができる配慮【別表3】 ・発達段階に配慮した学習内容の構成、写真やグラフの掲載により、生徒の興味や関心を高める工夫がされている。 ・地域調査の仕方を学ぶことで、6つの視点を基に地理的事象を意欲的に追及させる工夫がされている。 ◇中高一貫教育との関連【別表6】 ・地域の特色を端的に示す五つの地理的事象の選択が、同校の取組に一致している。 ・近畿地方の地域的特色を環境保全の視点を中心に追究する構成は、地域の課題を見出し考察する探求型の学習に活かすことができる。

京都府立洛北高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番号	発行者 略称	採 択 理 由
歴史	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き	46	帝国	教育基本法及び学習指導要領社会科（歴史的分野）の目標「社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を培う。」に従って、三つの資質・能力、主体的・対話的で深い学びを重点として構成し、学習指導要領に示された内容を習得できるように、小学校の内容との系統性を図りながらバランス良く選択・配列している。同校の中高一貫教育のねらいに鑑み、本書が適切であると考える。 ◇基礎的・基本的な知識及び技能の習得と定着【別表2】 歴史学習の導入で、歴史の流れのまとめ方、時代区分・年代の表し方を説明し、各見開きと共に、小学校の学習内容との関連を示している。単元の導入で、大きなイラストを提示し、時代の特色を視覚的にとらえ、単元末では導入を振り返って関連付け、年表や図でまとめたりしている。基礎的・基本的な知識及び技能の習得のため、他分野との関連を記号で示し、我が国の歴史にかかわる世界の出来事を適切に取り扱っている。各時代を大観するイラストや各種資料を効果的に配置し、資料を読み取る視点を示している。 ◇思考力、判断力、表現力等の育成【別表3】 章の問い、節の問い、見開きの学習課題を構造化して設定し、単元を見通して思考、判断、表現する活動ができるようにしている。各章末では、年表や資料を用いて各時代のようすを整理・取得させ、例示された言語活動を通して、思考力、判断力、表現力等の育成を図ろうとしている。 ◇生徒が主体的に学習に取り組むことができる配慮【別表4】 生徒の興味・関心を高めるために、「未来に向けて」「歴史プラス」など多くのコラムを配っている。部末には学習を深める自主学習・自由研究を設定している。また、書き込み等の作業的ページや豊富な二次元コードコンテンツ（デジタル資料）もあり、生徒が自ら学習に取り組みやすい工夫がされている。 ◇中高一貫教育との関連【別表1】 我が国の文化の学習に関連する教材を豊富に取り上げるとともに、高等学校地理歴史科「世界史」学習への動機付けとなる配慮がある。中高一貫教育校における学習内容として、開校以来、科学的なものの方や考え方の育成を図る同校の基本コンセプト「SCIENCE」に適している。また、人文科学においても「SCIENCE」を重視していることから、推薦教科書に学習内容に関連する項目が随所に見られる点が適切さ及び三年間の学習の系統性において、同校の実態に即していると判断できる。

京都府立洛北高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番号	発行者 略称	採 択 理 由
公民	新編 新しい社会 公民	2	東 書	教育基本法及び学習指導要領社会科（公民的分野）の目標「現代社会の見方・考え方を働かせ、課題を探究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を培う。」に従って、三つの資質・能力、主体的・対話的で深い学びを重点として構成し、学習指導要領に示された内容を習得できるように、小学校の内容及その系統性を図りながらバランス良く選択・配列している。同校の中高一貫教育のねらいに鑑み、本書が適切であると考える。 ◇基礎的・基本的な知識及び技能の習得と定着【別表2】 基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るため、1時間の学習の流れを各項で設定された学習課題について、資料等を活用し、考察することを通して解決し、振り返りができる構成になっている。また、単元のまとめとして、学習した語句を整理することができ課題を設定している。折り合いをつけることに関して、具体的な5事例を取り上げている。各章末の「章の学習をふり返ろう」に課題を設定し、学習内容の定着を図る工夫をしている。 ◇思考力、判断力、表現力等の育成【別表3】 思考力、判断力、表現力等の育成を充実させるために、単元を貫く課題を設定し、さらに深める課題も設定している。社会的事象を多面的・多角的に考察し、表現力を充実させる工夫として、具体的な事例をあげている。表現活動の充実への工夫として、話し合い活動やディベートを深める手法などを紹介している。 ◇主体的・対話的な学習【別表4】 生徒が主体的・対話的に学習できるように、「みんなでチャレンジ」や「見方・考え方」で課題を設定している。また、様々な題材のコラムで、興味・関心を高めるよう工夫している。 ◇地理・歴史的分野との関連【別表5】 巻頭に地理・歴史的分野との関連を示す資料を掲載している。また、関連するページに「分野関連マーク」や「二次元コード」を示すなど、効果的に学習できるよう工夫をしている。また、他教科等との関連では、教科関連マークで示している。 ◇中高一貫教育との関連【別表1】 同校では中高一貫教育校として、高等学校公民科「公共」の指導内容の一部を、中学校に移行させて指導している。推薦教科書では、高等学校で学習する内容についても発展的に示している箇所が豊富にあること、中学校での学習内容を適切に示していることから、三年間の系統性において、同校の実態に即していると判断できる。

京都府立洛北高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番号	発行者 略称	採 択 理 由
地図	中学校社会科地図	46	帝国	地図では、社会科における知識及び技能や思考力、判断力、表現力等の育成などに関する教材の取扱い、中高一貫教育との関連について検討し、本書が適切であると考える。 ◇社会科における知識及び技能の育成【別表2】 ・地図帳の最初に、「記号凡例」「地図帳の使い方」「地図で考える持続可能な社会」の記載があり、地図の活用やSDGsとの関連が図られる。 ・世界と日本の諸地域について、州や地方ごとに一般図が掲載され、それに続いて地域的特色がとえられる資料図やグラフ、写真が掲載されている。 ◇思考力、判断力、表現力等の育成【別表3】 ・統計資料として、世界や日本のおもな産物の国別・都道府県別生産割合のグラフが多く掲載され、それらを関連させて地域的特色を見出し、その理由などを考察させることができるよう工夫されている。 ・鳥瞰図により街並みや地形と関連付け産業の様子が把握できるようになっており、空間的なものの見方や考え方を育成できる工夫がされている。 ◇生徒が主体的に学習に取り組むことができる配慮【別表4】 ・発達段階に対する配慮について、絵記号やイラストを活用して、中学生が地図に親しみやすくする工夫がある。 ・伝統文化については、資料図に伝統的な町並みの保存の風景写真を用いて各地域の特色あるものが紹介されており、生徒の興味や関心が喚起される工夫がある。 ◇中高一貫教育との関連【別表6】 ・グラフが多く、それらを関連させて地域的特色を見出し、その理由などを考察させる学習活動が構想できるなど、身に付けようとしている科学的な見方や考え方の育成につなげることが可能である。

京都府立洛北高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番号	発行者 略称	採 択 理 由
数学	これからの 数学	104	数 研	数学では、数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、基礎的・基本的な内容の習得を図るための配慮、思考力、判断力、表現力等の育成を図るための配慮、生徒が見通しを持ち、主体的に学習に取り組むことができる配慮、高等学校との関連について検討し、本書が適切であると考える。 ◇基礎的・基本的な内容の習得を図るための配慮 ・章冒頭の「○章○○の学習の前に」で関連する既習事項を確認できるようにしている。 ・節末の「確認問題」、巻末の「チャレンジ編」、本文中の「ふりかえり」では、教科書内のどの部分を振り返ればよいかを明示してある。 ・各単元の章末に、「章の問題A」、「章の問題B」があり、学習の定着の程度に応じた学習に取り組みやすくするための工夫がある。【別表2、3】 ◇思考力、判断力、表現力等の育成を図るための配慮 ・「やってみよう」「調べよう」「考えよう」では、学習した内容に関連した話題や問題があり、内容をさらに深める活動ができるよう示している。 ・「TRY」では、活動を通して解決するための課題があり、さらに思考力を深める内容となっている。【別表3】 ◇生徒が見通しを持ち、主体的に学習に取り組むことができる配慮 ・各章の導入でデジタルコンテンツを利用して問題を解いたり、アニメーションを利用したりして数学的な活動ができるように工夫されている。 ・導入で人物キャラクターによる対話を入れることで、学ぶ内容の見通しを持つことができるように工夫されている。 ・活動を通して解決するための課題「TRY」と学習の中で大事にしたい問いかけ「Q」を提示するという流れで見通しをもって学習できるように工夫されている。【別表4】 ◇高等学校との関連 ・巻末の「数学旅行」で、発展的な内容や学習内容に関連した興味ある話題が取り上げられており、また、より深く学習することが可能な発展的な学習内容も取り上げられているため、高等学校の数学の学習にスムーズにつなげることができることとともに、採択校独自教科「洛北サイエンス」における学習の題材として活用することができる。【別表1、5、6】

京都府立洛北高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番号	発行者 略称	採 択 理 由
理科	新編 新しい科学	2	東書	理科では、基礎的・基本的な内容の定着とともに、思考力、判断力、表現力等の育成を図るための教材の取扱い、さらに中高一貫教育との関連について検討し、下記の理由により本書が適切であると考え。 ◇学習指導を進める上で適切な内容や構成 実験・観察・実習を適切に配置し、単元・章の初めに内容に関連する既習事項を示している。実験・観察を説明する場面でそのポイントを簡潔に示し、巻末で基本的な実験操作をまとめて記載している。章末に用語の確認、単元末に練習問題を掲載し、索引に基本用語が適切に掲載されている。導入や本編内において、生徒の興味・関心を高める工夫や生徒自らが自然現象の規則性を見出せる工夫が凝らされている。具体例やものの見方・考え方を単元ごとに示すことで思考を働かせる工夫を凝らしたり、観察・実験の目的を明確に示すことで生徒が主体的に取り組めるように工夫したりしている。実験・観察の結果分析において、分析するためのヒントを記し、各節の後半で探究の振り返りができるように学習活動を指示する項目を設置している。巻頭や単元の最初に学習の流れを明示するなど、見通しを持って学習に取り組めるよう工夫している。主体的に取組める探究的な学びの場面を提示し、内容の解説や単元末の振り返り問題を記載している。対話的な学習の場面を設けるとともに、適宜キャラクターと吹き出しを用いた対話の具体例を記載している。【別表2、3、4】 ◇使用上の便宜の工夫 ユニバーサルデザイン化に向けた工夫をしている。また、二次元コードからデジタルコンテンツに接続できる。全学年の巻末に資料があり、2年の巻末にはペーパーブックがある。デジタル教科書がある。【別表7】 ◇中高一貫教育との関連 「発展」などと明記した形式で各単元内や単元末に掲載している。本編に関連した発展的な学習内容や語句の解説、科学的なトピックを、読み物資料を中心として記載している。今日的な課題については、3年の最終単元で集中的に取り扱っている。調べ学習や自由研究、発展的な実験・観察に繋がる内容が記載されている。各学年で「防災特集」「私たちのSDGs」の項目を設け、SDGsや自然災害などに関する内容を取り扱っている。【別表5、6】

京都府立洛北高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番号	発行者 略称	採 択 理 由
音楽 一般	中学生の音楽	27	教芸	教育基本法及び学習指導要領音楽科の目標に従って、生活や社会の中の音や音楽との関わり、三つの資質・能力、主体的・対話的で深い学びを重点として構成し、学習指導要領に示された内容・配列している。我が国の伝統文化や諸外国の文化の理解を重視した中高一貫校としてのねらいに鑑み、本書が適切であると考え。 ◇学習指導要領の目標達成のための工夫【別表1、2】 ・1年間の学習内容と三つの資質・能力との関連をマトリックス表で示し、学びの見通しを持つことができるよう構成を工夫している。また、全教材の左端に目標及び音楽を形づくっている要素を示し、知覚と感受の関わりを考えることができるよう紙面を工夫している。 ・音楽と生活、社会、文化等とのつながりや音楽の価値を考える題材を巻頭に示し、社会とつながりやすい視点で深い学びに対応した工夫【別表3、4】 ・主体的・対話的で深い学びに対する課題提示や助言、生徒のキャラクター等による疑問や気づき等の吹き出しを随所に配置し、思考力・判断力・表現力等の育成を図り、主体的な課題解決のきっかけとなるよう工夫している。また、歌唱分野の表現の工夫や、鑑賞分野の曲想と音楽の構造との関わり等についての考えを書き込むワークシートを提示しながら、対話的に学ぶ活動例を示している。 ◇我が国や郷土の伝統文化や諸外国の文化の理解を重視した内容構成【別表1、6】
音楽 器楽	中学生の器楽	27	教芸	教育基本法及び学習指導要領音楽科の目標に従って、生活や社会の中の音や音楽との関わり、三つの資質・能力、主体的・対話的で深い学びを重点として構成し、学習指導要領に示された器楽分野等の内容を写真や二次元コードでわかりやすく示して小学校の基礎的な器楽の配列に主体的な学びに対応できる構成となっている。特に、日本の伝統的な器楽は、五線譜と伝統的に使用してきた楽譜の二種類を併記し、口唱歌を添えるように鑑み、我が国の伝統文化や諸外国の文化の理解を重視した中高一貫校としてのねらいに鑑み、本書が適切であると考える。 ◇学習指導要領の目標達成のための工夫及び基礎的な技能を身に付けることができる適切な教材配置【別表1、2】 ・1年間の学習内容と三つの資質・能力との関連を「学びの地図」のマトリックス表で示し、楽器をリコーダー・ギター・箏・三味線・太鼓・篠笛・尺八・打楽器・アンサンブルの順に配列し、奏法を写真や二次元コードによってわかりやすく示している。 ・主体的・対話的で深い学びに対応した工夫【別表3、4】 ・「学びのコンパス」で曲の構成やパートの役割を考えて対話的に学ぶ例を示している。またすべての教材に二次元コードを配置して模範演奏を示し、主体的な学びに対応している。 ◇我が国や郷土の伝統文化や諸外国の文化の理解を重視した内容構成【別表1、6】 ・各和楽器奏者からのメッセージや楽器を演奏する姿勢や奏法、礼儀作法など背景となる文化や歴史等について幅広く掲載している。

京都府立洛北高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番号	発行者 略称	採 択 理 由
美術	美術	116	日文	美術科では、学習指導要領に示す目標の達成のための工夫、基礎的・基本的な内容の定着を図るための配慮、生徒の主体性や学習意欲を喚起する配慮、高等学校芸術科との関連等の観点から検討し、本書が適切であると考ええる。 ◇学習指導要領に示す目標の達成のための工夫 ・学習指導要領の目標に基づいた内容をバランス良く取り上げている。 ・学年別の指導を考え「美術1」、「美術2・3上」、「美術2・3下」の3分冊で構成されている。各学年の発達段階を考慮した題材設定をし、資質・能力を育成できるよう工夫されている。 ・表現する活動を主にした題材では、表現と鑑賞が一体的に学習できるように配慮がされ、かつ多様な授業展開ができるよう工夫されている。【別表1】 ◇基礎的・基本的な内容の定着を図るための配慮 ・各巻末の資料ページは題材に対応し、基本的な用具の使い方や技法、色彩の基本、材料について知識、美術史の資料などを掲載し、基礎的な内容の定着を図れるよう工夫している。 ・「技法・用具」についてのデジタルコンテンツが準備され、二次元コードから技法などを動画で確認することができるよう構成されている。【別表2、7】 ◇生徒の主体性や学習意欲を喚起する配慮 ・各題材に「学びの目標」を設定し、育成すべき資質・能力が生徒にも理解しやすい言葉で示され、主体的に取り組めるよう工夫されている。 ・題材を貫く主発問となる「鑑賞の入り口」を設け、活動のねらいを理解し、生徒が自分なりの問いを生み出し、探求的に学習を深められるよう工夫している。【別表1、3、4、7】 ◇高等学校芸術科との関連 ・発達の段階に応じて学びが獲得できるよう、系統性に配慮している。「美術1」は身近なものを対象にし、「美術2・3上」では多様な表現に触れ、「美術2・3下」では自己を掘り下げ、いく題材が設定されており、高等学校芸術科の学びに繋げることができる。【別表1】

京都府立洛北高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番号	発行者 略称	採 択 理 由
保健 体育	新・中学保健体育	224	学研	各章ごとに「探究しようよ!」と「章のまとめ」が配置されていて、学習内容の理解と発展的な学習ができるように工夫されている。また、各章ごとに小学校で学習したことや高等学校で学習することを関連付けて示している。従って、中高一貫校の特色ある教育を推進するには、本書が適切であると考ええる。 ◇基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮【別表2】 「ウォームアップ(課題の発見)」「学習の課題」「本文と資料」「エクササイズ(課題の解決)」「学びを生かす(学びの活用)」の流れに沿って学習を進めることで、基礎的・基本的な知識及び技能を習得できるように配慮している。 単元ごとに二次元コードから外部サイトへアクセスすることができ、学習内容を深めることができる。 ◇思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮【別表3】 章末に「探究しようよ!」が配置されており、自ら課題を見つけて解決に向けて取り組むことで、更に深い学びが得られるよう工夫されている。「もっと広げる・深める」では、身に付けた知識を基に、興味や関心に応じてより深く学ぶことができるように工夫されている。また、各項目に設けられた「エクササイズ」、「学びを生かす」では、学習した知識や情報を基に、思考力・判断力・表現力等の育成を図るように配慮している。 ◇生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮【別表4】 「エクササイズ」、「学びを生かす」、「実習」の中で「協働」のマークで示されている場面では、教え合う、学び合う活動の中で、主体的・対話的かつ協働的に学習に取り組むことができるように配慮している。また、各章末に、「もっと広げる・深める」「探究しよう」を設け、学習内容に関連が深く興味をもちやすい課題を取り上げ、主体的に学習に取り組むことができるように配慮している。 ◇学習指導要領に示していない内容の取扱い【別表5】 「探究しようよ」、「発展」マークで発展的な内容の資料や学習課題について取り扱っている。 ◇他の教科等との関連【別表6】 理科、社会、技術・家庭・特別の教科 道德の内容と関連する学習課題や資料を本文中に取り扱っている。 ◇表記・表現の工夫【別表7】 学習内容を広げたり、深めたりするために、「探究しようよ」のページを用意している。文中のキーワードや関連する本文ページをマークで示し、本文中に資料と関連付ける印がある。ユニバーサルデザインに配慮された文字、色、レイアウトとなっている。

京都府立洛北高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番号	発行者 略称	採 択 理 由
技術	技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて	9	開隆堂	技術・家庭科（技術分野）では、以下の観点から検討し、本書が適切と考える。 ◇学習指導要領に示す目標の達成のために工夫【別表1】 「見方・考え方」については、ガイダンスで取り上げ、各内容でそれを深めるようになっている。各内容とも「導入」→「基礎学習」→「展開」→「まとめ・評価」の順で掲載されている。統合的な問題解決については、具体例が掲載されている。 ◇基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮【別表2】 各内容とも始めに基礎的・基本的な知識や技能を学ぶ流れになっており、各小項目の最後に設けられた「CHECK」によって自己の学びを調整できるようになっている。 安全については、ガイダンスで服装や技術室の特徴と安全をまとめており、安全のポイントは「安全」マークで注意を喚起している。 各編末には「学習のまとめ」のページがあり、学習内容の振り返り、定着を確認できるようになっている。 ◇思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮【別表3】 問題解決の内容の題材が26項目紹介されている。各編で問題解決の流れが丁寧に説明されており、問題解決例のページにおいても、先に説明された流れがそのまま示されている。各編の「学習のまとめ」に「社会の発展」を考えるようなワークシートが掲載されている。様々な種類の二次元コードコンテンツが用意されており、個別最適な学びに活用できるようになっている。 ◇生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮【別表4】 各編末には「学習のまとめ」のページがあり、学習内容の振り返り、定着を確認できるようになっている。 ◇使用上の便宜の工夫【別表7】 写真やイラスト、資料は充実しており、単語が途中で改行されないようにレイアウトも工夫されている。 ユニバーサルデザインフォントを使用し、本文では明朝系、図や参考ではゴシック系などを使い分けており、色覚に特徴のある生徒にも配慮したカラーユニバーサルデザインを使用している。弱視の特性があっても見やすいように文章を大きめのゴシック体にし、余計な色を省略したりしている。

京都府立洛北高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番号	発行者 略称	採 択 理 由
家庭	技術・家庭 家庭分野 自立しともに支え合う生活へ	9	開隆堂	技術・家庭科（家庭分野）では、基礎的・基本的な知識及び技能の習得や思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮、生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮、学習指導要領に示していない内容の取扱い、他の教科等との関連、表記・表現の工夫の観点から検討し、本書が適切と考える。 ◇学習指導要領に示す目標の達成のための工夫 ・技術・家庭科（家庭分野）で学習する内容について、3年間を見通した学習イメージを持たせ、生活の営みに係る見方・考え方を働かせながら、各内容を関連付けて学習できるように工夫されている。【別表1】 ◇基礎的・基本的な知識及び技能の習得や思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮 ・調理や製作等の実習では、手順や技能面の詳細について写真やイラストを用いて分かりやすく示し、生徒が基礎的・基本的な知識及び技能が習得できるように工夫されている。【別表2】 ・多種多様な実験・実習により生活の様々な事象を科学的な視点から考えさせ、探究的な学習ができるように工夫されている。【別表3】 ◇生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮 ・生活を自分事として捉え、生活の中から考えたり、実践したりする課題や学習を振り返り、自分の生活に生かしていくなどの問題解決的な学習を充実させるための工夫がされている。【別表4】 ◇学習指導要領に示していない内容の取扱い、他の教科等との関連 ・参考・発展などの項目で現代的な話題や発展的な内容を取り上げ、生徒の関心や意欲を高め、高等学校の学習や他教科の学習につなげるための工夫がされている。【別表5】 ・他教科や技術分野、特別の教科 道徳等の学習内容との関連性を示し、生徒が見通しをもった学習ができるように工夫されている。【別表6】 ◇使用上の便宜が工夫されている ・写真や資料、豆知識が多く、幅広い知識や情報を提供している。また、学習の場面で効果的に活用できるデジタルコンテンツが豊富に掲載されている。【別表7】

京都府立洛北高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番号	発行者 略称	採 択 理 由
英語	Here We Go! ENGLISH COURSE	38	光村	英語では、全体としての特徴や独自の工夫を考慮し、小学校での学びを基礎とした基礎的・基本的な内容の定着を図るための配慮、また思考力、判断力、表現力の育成を目指した配慮、生徒が主体的かつ対話的に学習に取り組めるような配慮を検討し、本書が適切であると考える。 ◇全体としての特徴や独自の工夫 ・学習指導要領が示す目標に基づき、コミュニケーション能力の基礎を養うために、各単元の構成を工夫し、学習到達目標を明確に示している。【別表1】 ・CAN-DO リストに基づき、段階的に単元を構成している。【別表1】 ・小学校で親しんだ表現を取り入れることや、音声指導を優先して導入するなど、小中連携の視点を取り入れている。【別表1】 ◇基礎的・基本的な内容の定着と、思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮 ・4技能のバランスの取れた育成に配慮している。【別表2】 ・小單元ごとに、基本文を用いた4技能5領域の基礎的な活動を行い、主要単元では複数の技能・領域を統合した自己表現活動を設定している。【別表2】 ・基礎・基本の習得から、基礎的な力を活用して長文を読んだり、話したり、書いたりする活動まで、段階的に学習できるような工夫をしている。【別表3】 ◇生徒が主体的かつ対話的に学習に取り組めるような配慮 ・学習の見通しを持ち、学習内容を振り返る工夫をしている。【別表4】 ・聞いたり読んだりしたことに基づいて、意見を述べ合う力が育成できる構成となっている。【別表4】

京都府立洛北高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番号	発行者 略称	採 択 理 由
特 別 の 教 科 道 徳				特別の教科 道徳科では、主体的・対話的で深い学びにつながる工夫、中高一貫教育における効果、指導と評価の一体化につながる工夫について検討し、本書が適切であると考え。
	中学道徳 あすを生きる	116	日文	1 主体的・対話的で深い学びにつながる工夫 (1) 個別最適な学びと協働的な学びを実現するための二次元コードコンテンツが充実している。すべての教材・コラムに二次元コードを表示し、インターネット上に用意された参考画像や動画などを閲覧することで、生徒が教材に興味・関心をもち、学ぶことができるように工夫されている。 (2) 二次元コードコンテンツの中に、話し合いの手法やシンキングツールなどが収録されており、話し合いを深めるための工夫がなされている。教員がそれらのコンテンツを活用し、生徒の実態に応じた多様な授業展開を行うことが可能である。 2 中高一貫教育における効果 (1) 中高一貫教育に即した多種多様な教材が取り上げられている。いじめの未然防止が全学年で最重要テーマとして設定され、複数の教材とコラムを組み合わせたユニット「いじめと向き合う」を年間に複数配置して、集中的かつ継続的に考えられるように配慮されている。 (2) 環境、伝統文化、国際理解等にかかわる指導に有効な教材が豊富で、「総合的な学習の時間」の学習内容とも関連させながら学習を深めることができる。さらに、生命、科学、環境等にかかわる教材も多く取り扱われており、同校の特色である「洛北サイエンス」の学習内容と関連づけて、より深い学びを実現できる。 3 指導と評価の一体化につながる工夫 (1) 別冊「道徳ノート」は発問欄が空欄であるため、生徒の実態に応じた発問を設定するなど、柔軟で自由な取り扱いができる。学期末・年度末の振り返り欄があり、手書きのノートをデータータ化できるため、生徒の学習状況や成長の様子を把握しやすく、生徒に寄り添った評価ができる工夫がなされている。

令和7年度京都府立園部高等学校附属中学校使用教科用図書一覧

令和7年度から使用開始

教科・種目	発行者	教科書名
国語	光村図書出版	国語
書写	教育出版	中学書写
社会(地理的分野)	帝国書院	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土
社会(歴史的分野)	帝国書院	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き
社会(公民的分野)	帝国書院	社会科 中学生の公民 よりよい社会をめざして
地図	帝国書院	中学校社会科地図
数学	数研出版	これからの 数学
理科	振興出版社啓林館	未来へひろがるサイエンス
音楽(一般)	教育芸術社	中学生の音楽
音楽(器楽合奏)	教育芸術社	中学生の器楽
美術	日本文教出版	美術
保健体育	東京書籍	新編 新しい保健体育
技術・家庭(技術分野)	東京書籍	新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology
技術・家庭(家庭分野)	開隆堂出版	技術・家庭 家庭分野 自立しともに支え合う生活へ
英語	三省堂	NEW CROWN English Series
特別の教科 道徳	光村図書出版	中学道徳 きみが いちばん ひかるとき

園部高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択について

1 採択にかかる主な調査内容

(1) 教育目標や教育課程の特色

本校では、大きく志をもって自己実現を目指し、知の世紀をリードする高い知性と創造性に富んだ人間の育成を目指している。このため、自然に対する理解や科学的思考力、自分の考えを倫理的に表現する力や問題解決能力の育成を図る工夫について調査した。

(2) 中高一貫教育校としての教育課程編成

本校では、中高6年間を見通した教育課程を編成している。このため、発展的な内容についても高校との接続が工夫されているか調査した。

(3) 活用する力の育成

思考力、判断力、表現力等の育成に関する教材の工夫について調査した。

2 採択案

教科・種目	発行者	教科書名	採択理由
国 語	光村	国語	※「情報と情報との関係」と「情報の整理」を扱う練習問題を通して、実践的な知識や技能を習得できるよう配慮している。 ※二次元コードコンテンツを多数収録し、補充的・発展的な学習ができるよう配慮している。
書 写	教出	中学書写	※伝統的な文字文化に関する内容や社会生活と関連した内容を多数掲載し、高等学校での「書道」の古典臨書学習への道筋をつけている。
社会 (地理的分野)	帝国	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土	※独自の資料や写真が多く使用されるなど、生徒の興味・関心を高め、思考力・判断力・表現力を養う内容となっている。 ※「人権教育」「福祉教育」「キャリア教育」等にも触れられており、他教科と関連付けて学習する際に適切な資料を掲載している。
社会 (歴史的分野)	帝国	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き	※各章末では年表や資料を用いて各時代を整理させ、例示された言語活動を通して、思考力、判断力、表現力等の育成を図っている。 ※人権教育に関わる資料や豊富な二次元コンテンツにより、他教科との関連を図っている。
社会 (公民的分野)	帝国	社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して	※社会的事実を多面的・多角的に考察し、表現力を充実させる工夫として具体的な事例を挙げている。
地 図	帝国	中学校社会科地図	※地理的分野だけでなく歴史的分野や公民的分野の国際社会など社会科全般に活用できる情報が盛り込まれている。
数 学	数研	これからの 数学	※学習内容に関連した話題や問題により、内容をさらに深める活動を行うことができる。また、活動を通して解決するための課題があり、さらに思考力を深める内容となっている。
理 科	啓林館	未来へひろがるサイエンス	※巻頭や単元の最初に学習の流れを明示し、見通しを持って学習に取り組めるよう工夫している。 ※調べ学習や発展的な実験・観察等につながる内容を記載している。
音楽(一般)	教芸	中学生の音楽	※1年間の学習内容と三つの資質・能力との関連を「学びの地図」のマトリックス表で示し、学びの見通しを持てるよう工夫している。
音楽 (器楽合奏)	教芸	中学生の器楽	※我が国の伝統文化に関連して、和楽器を演奏する姿勢や奏法、礼儀作法などを幅広く掲載している。
美 術	日文	美術	※各学年の発達段階を考慮した題材設定をし、表現と鑑賞が一体的に学習できるよう配慮している。 ※掲載作品の作者の思いに触れ、発想や構想を広げ深めることができるよう配慮している。
保健体育	東書	新編 新しい保健体育	※「見つける」「課題の解決」「広げる」のステップに応じて思考力、判断力、表現力等の育成を図る発問を設定している。 ※各章ごとに小学校や高等学校の学習内容を関連付けて示している。
技術・家庭 (技術分野)	東書	新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology	※問題解決のプロセスに沿った紙面構成で、自らの問題解決に主体的に取り組むことができる。 ※持続可能な社会の構築を考えるワークシートを掲載している。
技術・家庭 (家庭分野)	開隆堂	技術・家庭 家庭分野 自立しともに支え合う生活へ	※写真や資料、豆知識が多く、幅広い知識や情報を提供している。また、学習に効果的なデジタルコンテンツを豊富に掲載している。
英 語	三省堂	NEW CROWN English Series	※4技能5領域をバランスよく育成するように配慮している。 ※基礎・基本の習得から、基礎的な力を活用して長文を読んだり、話したり書いたりする活動まで段階を追って学習できる工夫がある。
道 徳	光村	中学道徳 きみが いちばん ひかるとき	※現代的課題や興味・関心を引き出す題材を幅広く取り扱っている。 ※教材配列は、関連する内容項目が有機的に結びつくように工夫され年間を通して計画的に学びを深めることができる構成である。

学校の概要

京都府立園部高等学校附属中学校

1 中高一貫教育

中学校と高等学校を接続し、安定した環境の中で、ゆとりある学校生活を送ることができます。また、6年間の継続的な指導により個性や能力の伸長を図ることができます。

2 教育目標

生徒の個性・学力・人間性を育み、志高く創造性に富んだ未来社会の形成者を育成する。

3 教育方針

健全 真理を求め正義を愛する心身の健全な人となること

明朗 進取敢為の性と明朗闊達な風とをもつ人となること

誠実 敬愛と誠実の心をもって社会に生きる人となること

4 基本コンセプト

大志・知・創造

大志 大きく高い志をもって自己実現を目指す人間を育てます。

知 知の世紀をリードする高い知性を備えた人間を育てます。

創造 21世紀社会を力強く生きる創造性に富んだ人間を育てます。

5 6年間を見通したカリキュラムによる授業

基礎期（中1・中2）

興味関心を広げ、各教科の専門的内容の基礎を固める時期です。

充実期（中3・高1）

中学・高校の学習内容を再構成し、幅広い知識の習得と論理的思考力を育成する時期です。

発展期（高2・高3）

興味・関心や進路希望に応じた教科・科目を選択して、発展的学習を行い、進路実現に備える時期です。

6 教育課程の特徴

○月・火・木は7時間授業、水・金は6時間授業、週33時間のカリキュラム編成

○国語・社会・数学・理科・英語は20名ずつの講座で少人数授業を展開

○数学・英語は週5時間（毎日）の授業設定

○理数分野における探究的な学習や大学と連携した特別授業の実施（クリエーション理科）

○論文作成をはじめ、国語力の伸長を目的とする様々な活動の実施（クリエーション国語力）

○思考力・表現力・新しい課題に取り組む力等を育成する授業の展開（学びと未来）

○自らの将来を主体的に切り拓く力を育成するキャリア教育の充実（学びと未来）

京都府立園部高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番号	発行者 略称	採 択 理 由
国語	国語	38	光 村	国語科では、基礎的・基本的な内容の定着や思考力、判断力、表現力等の育成を図る教材の取り扱い、高等学校との関連などの観点から検討し、本書が適切であると考える。 ◇基礎的・基本的な内容の定着を図る教材や思考力、判断力、表現力等の育成を図る教材 ・「学びへの扉」(手引き)は、学習活動全体を見通し、自らの学習を調整しながら、対話的に理解や考えを深める構成になっている。【別表3】 ・「情報と情報との関係」を扱う「思考のレッスン」と「情報の整理」を扱う「情報整理のレッスン」を設け、練習問題を通して実践的に知識や技能を習得できるよう配慮している。 【別表2】 ・巻頭に、1年間の学習と身に付ける資質・能力が俯瞰できる「学習の見通しを」とう」を設け、生徒が主体的に学習の見通しを持ったり、既習事項を確かめて次の学習に活かしたりすることができるよう工夫している。【別表4】 ◇高等学校との関連 ・補充的・発展的な学習ができる配慮がされている。二次元コードには3年間で350以上のコンテンツが収録されており、個々の目的や興味・関心に応じて自由に選択し、活用しながら高等学校との関連を図ることができる。【別表1】
書写	中学書写	17	教 出	書写では、1・2年生では主に硬筆を、3年生では毛筆を中心としたカリキュラムを編成し、高校の芸術(書道)の内容の一部を中学校で実施している。伝統的な文字文化に関する内容や社会生活と関連した内容の取扱い、高等学校との関連などの観点から検討し、本書が適切であると考える。 ◇生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる教材 ・「考えよう→生かそう→振り返ろう」の流れで学習に取り組むことができ、学習過程全体が分かる教材を取り扱っている。【別表4】 ◇社会生活と関連した内容の取扱い ・文字を活用した身の回りの多様な表現として、実際に使われているもの(看板など)の写真や実物例を多数示し、身の回りの筆文字についても考えさせるように工夫されている。【別表5】 ◇伝統的な文字文化との関連 ・歴史上の人物の筆跡、看板や各都道府県にある石碑など、例が多く掲載されている。【別表5】 ◇高等学校との関連 ・石碑や作家の筆跡などの例を取り上げ、高等学校での「書道」の古典臨書学習への道筋をつけている。【別表5】

京都府立園部高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番号	発行者 略称	採 択 理 由
地理	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土	46	帝国	社会（地理的分野）では、地理的な知識及び技能や思考力、判断力、表現力等の育成などに関する教材の取扱い、中高一貫教育との関連について検討し、本書が適切であると考える。 ◇地理的知識及び技能の育成【別表2】 ・地球儀や世界地図を効果的に活用し、世界と日本の地域構成を大観させ、基礎的な知識・技能を身に付けさせる内容を取り上げている。 ・学習内容に対する理解状況に応じて、「学習課題」「確認しよう」「説明しよう」と段階的に学習が進められるよう工夫されている。 ◇思考力、判断力、表現力等の育成【別表3】 ・世界と日本の諸地域の地域的特色が簡潔・平易に整理されている。 ・地域の学習について、独自の資料や写真が多く使用されているなど、生徒の興味・関心を高め、思考力・判断力・表現力を養う内容となっている。 ◇生徒が主体的に学習に取り組むことができる配慮【別表4】 ・各単元の「学習を振り返ろう」が、復習やまとめに活用できる適切な課題となっている。 ・「技能をみがく」の内容が、資料の読み取りや地図の読図や作図などに自主的に取り組みやすく工夫されている。 ◇中高一貫教育との関連【別表6】 ・「人権教育」「福祉教育」「キャリア教育」「環境教育」にも適切に触れられているため、他の教科と関連付けて学習する際に適切な資料等が掲載されており、系統的な知識の学習を基本とし、各分野の学習に他分野、他教科の学習内容を導入している同校には適当である。

京都府立園部高等学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番号	発行者 略称	採 択 理 由
歴史	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き	46	帝国	教育基本法及び学習指導要領社会科（歴史的分野）の目標「社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を培う。」に従って、三つの資質・能力、主体的・対話的で深い学びを重点として構成し、学習指導要領に示された内容を習得できるように、小学校の内容及その系統性を図りながらバランス良く選択・配列している。同校の中高一貫教育のねらいに鑑み、本書が適切であると考える。 ◇基礎的・基本的な知識及び技能の習得と定着【別表2】 歴史学習の導入で、歴史の流れのまとめ方、時代区分・年代の表し方を説明し、各見開きとともに、小学校の学習内容との関連を示している。単元の導入で、大きなイラストを提示し、時代の特色を視覚的にとらえ、単元末では導入を振り返って関連付け、年表や図でまとめたりしている。基礎的・基本的な知識及び技能の習得のため、他分野との関連を記号で示し、我が国の歴史にかかわる世界の出来事を適切に取り扱っている。各時代を大観するイラストや各種資料を効果的に配置し、資料を読み取る視点を示している。 ◇思考力、判断力、表現力等の育成【別表3】 章の問い、節の問い、見開きの学習課題を構造化して設定し、単元を見通して思考、判断、表現する活動ができるようにしている。各章末では、年表や資料を用いて各時代の様子を整理・取得させ、例示された言語活動を通して、思考力、判断力、表現力等の育成を図ろうとしている。 ◇生徒が主体的に学習に取り組むことができる配慮【別表4】 生徒の興味・関心を高めるために、「未来に向けて」「歴史ブラス」など多くのコラムを配っている。部末には学習を深める自主学習・自由研究を設定している。また、書き込み等の作業的ページや豊富な二次元コードコンテンツ（デジタル資料）もあり、生徒が自ら学習に取り組みやすい工夫がされている。 ◇中高一貫教育との関連【別表1】 同校では、中高一貫校としての社会科教育において、系統的な知識の習得及び他分野・他教科と関連した理解の定着を重視している。また、「道徳教育」「人権教育」との関連性にも重きを置いている。推薦教科書内の資料には、随所に小学校・地理的分野・公民的分野や人権教育にかかわる資料の明示がされていること、豊富な二次元コードコンテンツも活用できることから、同校の目指す学習に適していると判断できる。

京都府立園部高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番号	発行者 略称	採 択 理 由
公民	社会科 中学生の公民 よりよい社会をめざして	46	帝国	教育基本法及び学習指導要領社会科（公民的分野）の目標「現代社会の見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を培う。」に従って、三つの資質・能力、主体的・対話的で深い学びを重点として構成し、学習指導要領に示された内容を習得できるように、小学校の内容及その系統性を図りながらバランス良く選択・配列している。同校の中高一貫教育のねらいに鑑み、本書が適切であると考える。 ◇基礎的・基本的な知識及び技能の習得と定着【別表2】 歴史的分野との接続も考慮しながら、私たちの生きる現代社会について高度経済成長期以降の社会的事象を適切に取り上げている。また、基礎的・基本的な知識及び技能の習得と定着を図るため各章末の「章の学習を振り返ろう」に課題を設定し、学習内容の定着を図る工夫をしている。さらに、折り合いをつけることに關して、具体的な6事例を取り上げている。 ◇思考力、判断力、表現力等の育成【別表3】 単元ごとに目当てとなる課題を設定し、更に深める課題も設定している。社会的事象を多面的・多角的に考察し、表現力を充実させる工夫として具体的な事例を挙げている。表現活動の充実への工夫として、ロールプレイングの方法やディベートを採める手法などを紹介している。 ◇主体的・対話的な学習【別表4】 生徒が主体的・対話的に学習できるように、「アクティブ公民」や「技能をみがく」で課題を設定している。また、様々な題材のコラムで、興味・関心を高めるよう工夫している。 ◇地理・歴史的分野との関連【別表5】 該当するページに、「小学校・地理・歴史を振り返る」として、他分野で学習してきた語句を振り返る工夫をしている。巻末に「第二次世界大戦後の歩み」の資料を掲載し、現代史と関連させて振り返る工夫をしている。さらに、道徳科との関連については、主として集団や社会とのかかわりに関する内容を取り扱っている。 ◇中高一貫教育との関連【別表1】 同校の社会科では、系統的な知識の学習を基本とし、地理・歴史・公民各分野、他の教科との関連性を重視していることから、各分野の学習に他分野、他の教科の学習内容を導入している。本書は写真や資料などが豊富であり、「人権教育」との関連性を重視する学習に適している。また、巻末には高等学校での学習への動機付けに配慮されており、3分野を共通の発行者のものにすることで3年間の系統立てた指導が可能になるとともに、高等学校で使用されている教科書との関連性も深め、6年間を見通した一貫した指導を目指している点からも適していると考える。

京都府立園部高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番号	発行者 略称	採 択 理 由
地図	中学校社会科地図	46	帝国	地図では、社会科における知識及び技能や思考力、判断力、表現力等の育成などに関する教材の取扱い、中高一貫教育との関連について検討し、本書が適切であると考える。 ◇社会科における知識及び技能の育成【別表2】 ・冒頭において使い方を丁寧に説明しており、調べ学習の例示も適切である。 ・写真と実測図の比較を掲載することで、学習効果が高まるよう工夫されている。 ◇思考力、判断力、表現力等の育成【別表3】 ・地域図・主題図などが充実しており、系統的に掲載されている。 ・歴史や公民などの分野に関連する資料図を掲載しているため、他の分野と関連付けながら学習できる工夫がされている。 ◇生徒が主体的に学習に取り組むことができる配慮【別表4】 ・写真やイラストなどを豊富に掲載し、興味・関心を高めるよう工夫されている。 ・各国の比較・関連を重視したグラフや写真が掲載されている。 ◇中高一貫教育との関連【別表6】 ・系統的な知識の学習を基本とし、各分野の学習に他分野、他教科の学習内容を導入している同校には、地理分野の情報だけでなく歴史的分野や公民的分野の国際社会など社会科全般に活用できる情報が盛り込まれており、関連性を重視している本書は適切である。

京都府立園部高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番号	発行者 略称	採 択 理 由
数学	これからの 数学	104	数 研	数学では、数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、基礎的・基本的な内容の習得を図るための配慮、思考力、判断力、表現力等の育成を図るための配慮、生徒が見通しを持ち、主体的に学習に取り組むことができる配慮、高等学校との関連について検討し、本書が適切であると考える。 ◇基礎的・基本的な内容の習得を図るための配慮 ・学び直しができるよう、側注に「ふりかえり」を設けている。 ・項目末に練習問題が設けられており、復習できるよう工夫がされている。 ・節末の「確認問題」で理解の確認を行うとともに、振り返るページを示している。【別表2】 ◇思考力、判断力、表現力等の育成を図るための配慮 ・「やってみよう」「調べよう」「考えよう」では、学習した内容に関連した話題や問題があり、内容を更に深める活動ができるよう示されている。 ・「TRY」では、活動を通して解決するための課題があり、更に思考力を深める内容となっている。【別表3】 ◇生徒が見通しを持ち、主体的に学習に取り組むことができる配慮 ・各章の学習の前に「ふりかえり」のページを設けている。 ・導入で人物キャラクターによる対話を入れることで、学ぶ内容の見通しを持つことができるように工夫されている。 ・活動を通して解決するための課題「TRY」と学習の中で大事にしたい問いかけ「Q」を提示するという流れで見通しをもって学習できるように工夫されている。【別表4】 ◇高等学校との関連 ・「発展マーク」で当該学年の学習指導要領に示されていない内容、高等学校で学習する内容と関連した内容を取り上げている。【別表5】

京都府立園部高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番号	発行者 略称	採 択 理 由
理科	未来へひろがるサイエンス	61	啓林館	理科では、基礎的・基本的な内容の定着とともに、思考力、判断力、表現力等の育成を図るための教材の取扱い、さらに中高一貫教育との関連について検討し、以下の理由により本書が適切であると考ええる。 ◇学習指導を進める上で適切な内容や構成 実験・観察・実習は3年間を通して適切に掲載し、単元・章の始めに内容に関連する既習事項を示している。実験・観察を説明する場面でそのポイントを簡潔に示し、特定の実験については使う技能について紹介している。章末及び単元末（二次元コードで対応）に練習問題を掲載し、索引に基本用語を適切に掲載している。 本編内において、生徒の探究意欲を高める工夫や生徒の興味・関心を高める工夫が凝らされている。具体例やものの見方・考え方を適宜吹き出しなどで示すことで思考を働かせる工夫を凝らしたり、観察・実験・実習の目的を明確に示すことで生徒が主体的に取り組めるように工夫したりしている。 実験・観察の結果分析において、まとめの文例が丁寧に記されている。また、実験・観察の後述及び巻末に課題解決的な学びのための振り返りの観点とその例を示す項目が設置されている。 巻頭や単元の最初に学習の流れを明示するなど、見通しを持って学習に取り組めるよう工夫し、主体的に取り組める探究的な学びの場面を提示している。 内容の解説や単元末の振り返り問題を記載し、対話的な学習の場面を設けるとともに、適宜キャラクターと吹き出しを用いた対話の具体例を記載している。【別表2、3、4】 ◇使用上の便宜の工夫 ユニバーサルデザイン化に向けた工夫を行っている。また、二次元コードからデジタルコンテンツに接続できる。全学年の巻末に資料と「探Qシート」4枚があり、デジタル教科書がある。【別表7】 ◇中高一貫教育との関連 「発展」と明記した形式で各単元内に掲載し、本編に関連した発展的な学習内容や語句の解説、科学的なトピックを、読み物資料を中心として記載している。今日的な課題については、3年の最終単元で集中的に取り扱っている。調べ学習や自由研究、発展的な実験・観察に繋がる内容が記載されている。また、災害から得た知識を未来に活かす「未来指向型の防災・減災教育」の考えに沿って全体が記述されており、SDGsや自然災害などに関する内容を取り扱っている。【別表5、6】

京都府立園部高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番号	発行者 略称	採 択 理 由
音楽一般	中学生の音楽	27	教芸	教育基本法及び学習指導要領音楽科の目標に従って、生活や社会の中の音や音楽との関わり、三つの資質・能力、主体的・対話的で深い学びを重点として構成し、学習指導要領に示された内容・配列している。我が国の伝統文化や特別の教科 道徳との関連を重視した中高一貫校としてのねらいに鑑み、本書が適切であると考える。 ◇学習指導要領の学習内容と三つの資質・能力との関係を表マトリックス表で示し、学びの見通しを持つことができ、1年間の学習内容と三つの資質・能力との関係が、全教材の左端に目録及び音楽を形作っている要素を示し、生活、社会、文化等との関わりが、工場の工員を工員として提示している。 ◇主体的・対話的で深い学びに対応した工夫【別表3、4】 ・教師役のキャラクターによる課題提示、生徒の発言、表現力等の育成を図り、主体的な課題解決のきっかけとなるよう工夫している。また、歌唱分野の表現の工夫や、鑑賞分野の曲想と音楽の構造との関わりなどについて、考えを書き込むワークシートを提示しながら、対話的に学ぶ活動例を示している。 ◇我が国の伝統文化や特別な教科 道徳との関連を重視した内容構成【別表1、6】 教育基本法及び学習指導要領音楽科の目標に従って、生活や社会の中の音や音楽との関わり、三つの資質・能力、主体的・対話的で深い学びを重点として構成し、学習指導要領に示された器楽分野等の内容を写真や二次元コードでわかりやすく示し、小学校の基礎的な器楽は、五線譜と伝統的に主体的な学びに対応できる楽譜の二種類を併記し、口唱歌を添えている。また音楽一般の教材と関連させた教材も多く、表現と鑑賞を一体的に学べるよう工夫されている。我が国の伝統文化や特別な教科 道徳との関連を重視した中高一貫校としてのねらいに鑑み、本書が適切であると考える。 ◇学習指導要領の目標達成のための工夫及び基礎的な技能を身に付けることができる適切な教材配置【別表1、2】 ・1年間の学習内容と三つの資質・能力との関連を「学びの地図」のマトリックス表で示し、楽器をリコーダー・ギター・箏・三味線・太鼓・篠笛・尺八・打楽器・アンサンブルの順に配列し、奏法を写真や二次元コードによってわかりやすく示している。 ◇主体的・対話的で深い学びに対応した工夫【別表3、4】 ・「学びのコンパス」で曲の構成やパートの役割を考えて対話的に学ぶ例を示している。またすべての教材に二次元コードを配置して模範演奏を示し、主体的な学びに対応している。 ◇我が国の伝統文化や特別な教科 道徳との関連を重視した内容構成【別表1、6】 ・我が国の伝統文化や特別な教科 道徳との関連を重視した内容構成【別表1、6】
音楽器楽	中学生の器楽	27	教芸	教育基本法及び学習指導要領音楽科の目標に従って、生活や社会の中の音や音楽との関わり、三つの資質・能力、主体的・対話的で深い学びを重点として構成し、学習指導要領に示された器楽分野等の内容を写真や二次元コードでわかりやすく示し、小学校の基礎的な器楽は、五線譜と伝統的に主体的な学びに対応できる楽譜の二種類を併記し、口唱歌を添えている。また音楽一般の教材と関連させた教材も多く、表現と鑑賞を一体的に学べるよう工夫されている。我が国の伝統文化や特別な教科 道徳との関連を重視した中高一貫校としてのねらいに鑑み、本書が適切であると考える。 ◇学習指導要領の目標達成のための工夫及び基礎的な技能を身に付けることができる適切な教材配置【別表1、2】 ・1年間の学習内容と三つの資質・能力との関連を「学びの地図」のマトリックス表で示し、楽器をリコーダー・ギター・箏・三味線・太鼓・篠笛・尺八・打楽器・アンサンブルの順に配列し、奏法を写真や二次元コードによってわかりやすく示している。 ◇主体的・対話的で深い学びに対応した工夫【別表3、4】 ・「学びのコンパス」で曲の構成やパートの役割を考えて対話的に学ぶ例を示している。またすべての教材に二次元コードを配置して模範演奏を示し、主体的な学びに対応している。 ◇我が国の伝統文化や特別な教科 道徳との関連を重視した内容構成【別表1、6】 ・我が国の伝統文化や特別な教科 道徳との関連を重視した内容構成【別表1、6】

京都府立園部高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番号	発行者 略称	採 択 理 由
美術	美術	116	日文	美術科では、学習指導要領に示す目標の達成のための工夫、基礎的・基本的な内容の定着を図るための配慮、思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮、生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮、他の教科等との関連等の観点から検討し、本書が適切であると考ええる。 ◇学習指導要領に示す目標の達成のための工夫 ・学習指導要領の目標に基づいた内容をバランス良く取り上げている。 ・学年別の指導を考え、「美術1」、「美術2・3上」、「美術2・3下」の3分冊で構成されている。各学年の発達段階を考慮した題材設定をし、資質・能力を育成できるよう工夫されている。 ・表現する活動を主にした題材においても、表現と鑑賞が一体的に学習できるように配慮がされている。【別表1】 ◇基礎的・基本的な内容の定着を図るための配慮 ・各巻末の資料ページは題材に対応し、基本的な用具の使い方や技法、色彩の基本、材料について知識、美術史の資料などを掲載し、基礎的・基本的な内容の定着を図れるよう工夫されている。【別表2、7】 ◇思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮 ・題材ページでは生徒の発想や構想の手掛かりとして、掲載作品の作者の言葉を掲載し、その思いに触れ、発想や構想を広げ深めることが出来るよう配慮されている。【別表3】 ◇生徒の主体性や学習意欲を喚起する配慮 ・各題材に「学びの目標」を設定し、育成すべき資質・能力が生徒にも理解しやすい言葉で示され、主体的に取り組めるよう工夫されている。 ・「教科書の使い方」で題材ページの見方や使い方を示し、また生徒が授業の見通しをもって活動できるような紙面が工夫されている。【別表1、3、4、7】 ◇他の教科等との関連 ・道徳と深く関連する題材ページには、紙面の下部に特別な教科 道徳の内容項目に対応した文章を示し、生徒の意識を促しながら関連を図った学習ができるように配慮している。【別表6】

京都府立園部高等学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番号	発行者 略称	採 択 理 由
保健 体育	新編 新しい保健体育	2	東書	各章ごとに二次元コードコンテンツとして「学習のまとめ」を配置し、学習内容の理解が深まるように工夫している。また、各章ごとに小学校で学習したことや高等学校で学習することを関連付けて示している。従って、中高一貫校の特色ある教育を推進するには、本書が適切であると考える。 ◇基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮【別表2】 「見つける」「学習課題」「課題の解決」「発問」「本文・資料」「活用する」「広げる」の流れに沿って学習を進めることで、基礎的・基本的な知識及び技能を習得できるように配慮している。 各章末の章末資料に「学習のまとめ」が配置されており、二次元コードからキーワードや章末問題を読み込み、知識の習得状況を確認することができ、外部サイトへアクセスすることができ、学習内容を深めることができる。 ◇思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮【別表3】 「見つける」や「課題の解決」「発問」「本文・資料」「活用する」「広げる」では、それぞれのステップに応じて思考力・判断力・表現力等を育成することができ、発問が設定しており、課題の合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、それを表現することができるよう配慮している。また、章末資料「学習のまとめ」に“日常生活に生かそう”、“SDGsについて考えよう”の問いが配置されており、ワークシートをダウンロードし、まとめられるように配慮している。 ◇生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮【別表4】 「課題の解決」では、内容のまとめりに「発問」を設け、資料などを主体的に読み解き理解できるように配慮し、「活用する」では、他者に説明したり他者と話し合ったりする活動を取り上げ、対話的に学習に取り組むことができるように配慮し、「広げる」では、学習したことを自分の生活に当てはめることで、よりよく生活する実践力を高めるよう配慮している。 ◇学習指導要領に示していない内容の取扱い【別表5】 「読み物」「章末資料」で発展的な内容の資料や学習課題について取り扱っている。 ◇他の教科等との関連【別表6】 理科、社会、家庭や特別の教科 道徳の内容と関連する学習課題や資料を本文中に取り扱っている。 ◇表記・表現の工夫【別表7】 本文中の注記以外に、キーワードの解説があり、関連する本文ページをマークで示し、本文中に資料と関連付ける印がある。知識の確認と活用のための「学習のまとめ」のページを用意している。ユニバーサルデザインに配慮された文字、色、レイアウトとなっている。

京都府立園部高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番号	発行者 略称	採 択 理 由
技術	新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology	2	東書	技術・家庭科（技術分野）では、以下の観点から検討し、本書が適切と考える。 ◇全体としての特徴や創意工夫【別表1】 「見方・考え方」については、ガイダンスにおいて「技術のめがね」「最適化の窓」で社会における技術を見ることができ、各編の導入において、身の回りの製品を取り上げ、既存の技術の工夫を読み取ることができるように工夫されている。 学習内容が、身の回りの問題解決から社会の問題解決まで幅広く収載されている。統合的な問題解決については、具体例が掲載されている。 ◇基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮【別表2】 基礎的・基本的な知識や技能については、「技術のとびら」「TECH Lab」でまとめられている。 安全については、巻頭に「作業を安全に楽しく進めよう」が示されており、各章での安全や衛生のポイントには「安全」マーク、「衛生」マークを付けて、生徒の注意を喚起している。 ◇思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮【別表3】 問題解決例のページは、問題解決のプロセスに沿った紙面構成となっており、自らの問題解決に主体的に取り組むことができるようになっている。 ◇生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮【別表4】 各編末には「学習のまとめ」のページがあり、評価の観点である「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」について、学習内容の定着を確認できるようになっている。各編の最終章には、持続可能な社会の構築に向けて、生徒自身が考えられるようなワークシートが掲載されている。 ◇学習指導要領に示していない内容の取り扱い【別表5】 巻末には「学んだことを社会に生かす」を設け、技術分野の学習内容を広げて、将来に生かしてほしいというメッセージが掲載されている。 ◇他の教科等との関連【別表6】 随所に「小学校」「他教科」マークを付して、他教科と学年及び学習内容の関連を示している。特別の教科 道徳については「まとめと発表の仕方ポイント」「生物育成の技術と環境との関わり」「情報セキュリティと情報モラル」の内容で記載している。

京都府立園部高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番号	発行者 略称	採 択 理 由
家庭	技術・家庭 家庭分野 自立しともに支え合う生活へ	9	開隆堂	技術・家庭科（家庭分野）では、基礎的・基本的な知識及び技能の習得や思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮、生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮、学習指導要領に示していない内容の取扱い、他の教科等との関連、表記・表現の工夫の観点から検討し、本書が適切と考える。 ◇学習指導要領に示す目標の達成のための工夫 ・技術・家庭科（家庭分野）で学習する内容について、3年間を見通した学習イメージを持たせ、生活の営みに係る見方・考え方を働かせながら、各内容を関連付けて学習できるように工夫されている。【別表1】 ◇基礎的・基本的な知識及び技能の習得や思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮 ・調理や製作等の実習では、手順や技能面の詳細について写真やイラストを用いて分かりやすく示し、生徒が基礎的・基本的な知識及び技能が習得できるように工夫されている。【別表2】 ・生活を自分事として捉え、生活の中から考えたり、実践したりする課題や学習を振り返り、自分の生活に生かしていくなどの問題解決的な学習を充実させるための工夫がされている。【別表3、4】 ◇生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮 ・実践的・体験的活動を通して、話し合いの活動や思考する活動などさまざまな言語活動ができ、生徒自らの考えを広げて深められるように工夫されている。【別表3、4】 ◇学習指導要領に示していない内容の取扱い、他の教科等との関連 ・発展的な内容を取り上げ、生徒の関心や意欲を高め、高等学校の学習や他教科の学習につなげるための工夫がされている。【別表5】 ・他教科や技術分野、特別の教科 道徳等の学習内容との関連性を示し、生徒が見通しをもった学習ができるように工夫されている。【別表6】 ◇使用上の便宜の工夫 ・写真や資料、豆知識が多く、幅広い知識や情報を提供している。また、学習の場面で効果的に活用できるデジタルコンテンツが豊富に掲載されている。【別表7】

京都府立園部高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番号	発行者 略称	採 択 理 由
英語	NEW CROWN English Series	15	三省堂	英語では、全体としての特徴や創意工夫、基礎的・基本的な内容の定着を図るための配慮及び思考力、判断力、表現力等の育成を図るための配慮、生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮について検討し、本書が適切であると考え。 ◇全体としての特徴や創意工夫 ・学習指導要領の示す目標に従い、コミュニケーション能力の基礎を養うために、単元構成を工夫し、単元ごとの学習到達目標を明確に示している。小学校との接続のための工夫や学習した内容を統合して活動する工夫、即興で伝え合う工夫を取り入れている。【別表1】 ◇基礎的・基本的な内容の定着を図るための配慮及び思考力、判断力、表現力等の育成を図るための配慮 ・4技能5領域をバランスよく育成するように配慮している。【別表2】 ・小単元ごとに、基本文について4技能5領域を用いた基本的な活動を行っている。また、主要単元で複数の技能・領域を統合的に活用した自己表現活動を設定している。【別表2】 ・基礎・基本の習得から、基礎的な力を活用して長文を読んだり、話したり書いたりする活動まで、段階を追って学習できるような工夫をしている。【別表3】 ◇生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮 ・学習の見通しを持ったり、学習内容を振り返ったりする工夫をしている。また、聞いたり読んだりしたことについて、意見を述べ合うなどの力が育成できる構成となっている。【別表4】

京都府立園部高等学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番号	発行者 略称	採 択 理 由
特別の教科 道徳	きみが いちばん ひかるとき 中学道徳	38	光村	特別の教科 道徳科では、学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること、学習指導要領に沿った学習を進める上で、内容や構成における工夫がなされていることについて検討し、本書が適切であると考え。 1 学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること (1) 全体としての特徴や創意工夫 生徒の実態に即した現代的課題や生徒の興味・関心を引き出す題材を幅広く取り扱っている。「共に生きるために」が大きなテーマとして設定され、「人権」について考えることに重点を置いている。 2 学習指導要領に沿った学習を進める上で、内容や構成における工夫がなされていること (1) 道徳的諸価値についての理解を深めるための工夫 それぞれの内容項目について、生徒が「自分のこと」として捉え、道徳的価値について深く考えさせる内容のものが多く、また、「考え、議論する」道徳の授業になるように、問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な活動を取り入れられており、授業の展開をイメージしやすい。 (2) 物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深めるための工夫 生命の尊さを直接的、間接的に扱った題材や、正義感や友情など豊かな心を3年間継続して育むための多様な教材を取り上げている。 教材配列は、関連する内容項目が有機的に結びつくように工夫がされており、年間を通して計画的に学びを深めることができるような構成になっている。 (3) 現代的な課題などの題材の取扱い 「いじめ問題」について、読み物教材と具体的な活動を伴う「まなびをプラス」を組み合わせ、生徒が自分ごととして問題を捉えられるように工夫されている。 教科書全般にわたって教材や挿絵に登場する人物などに性別による偏りがないよう配慮されている。人種、身体的特徴についても多様性に意を用いると共に人権に配慮した記述がなされ、またジェンダーバイアス等を助長しない表現への配慮がなされている。 (4) 他教科等との関連 各教科と関連ある教材がバランスよく配置され、学校教育活動の中心として各教科と関連づけた道徳の時間の充実を図ることが可能である。 国際理解教育、キャリア教育など「総合的な学習の時間」にかかわる指導に有効な教材が充実している。

令和7年度京都府立福知山高等学校附属中学校使用教科用図書一覧

令和7年度から使用開始

教科・種目	発行者	教科書名
国語	東京書籍	新編 新しい国語
書写	東京書籍	新編 新しい書写
社会(地理的分野)	帝国書院	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土
社会(歴史的分野)	山川出版社	中学歴史 日本と世界 改訂版
社会(公民的分野)	東京書籍	新編 新しい社会 公民
地図	帝国書院	中学校社会科地図
数学	数研出版	これからの 数学
理科	学校図書	中学校 科学
音楽(一般)	教育芸術社	中学生の音楽
音楽(器楽合奏)	教育芸術社	中学生の器楽
美術	光村図書出版	美術
保健体育	Gakken	新・中学保健体育
技術・家庭(技術分野)	東京書籍	新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology
技術・家庭(家庭分野)	東京書籍	新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して
英語	三省堂	NEW CROWN English Series
特別の教科 道徳	あかつき教育図書	中学生の道徳

福知山高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択について

1 採択にかかる主な調査内容

(1) 教育目標や教育課程の特色

本校では、個を活かし、公に生きる人間の育成とグローバルに活躍する人間の育成を目指し、「感じる力」「考える力」「行動する力」「向上する力」「関わる力」の5つをつけたい力としている。このため、この5つの力をつけるにあたって効果的な工夫について調査した。

(2) 中高一貫教育校としての教育課程編成

本校では、中高6年間を見通した教育課程を編成している。このため、発展的な学習や「みらい楽」（総合的な学習の時間）の内容についても高校との接続が工夫されているか調査した。

(3) 活用する力の育成

思考力・判断力・表現力の育成に関する教材の工夫について調査した。

2 採択案

教科・種目	発行者	教科書名	採択理由
国 語	東書	新編 新しい国語	※育成する「言葉の力」に対応する目標等を明示し、学習を進める上で着目すべき点が分かるよう工夫している。 ※二次元コードから利用できるデジタルコンテンツが充実しており、補充的・発展的な学習ができるよう配慮されている。
書 写	東書	新編 新しい書写	※日本の伝統産業や文化に親しみ、興味を持つよう工夫している。 ※高等学校芸術科書道の履修につながる古典資料を掲載し、文字文化への関心を高めている。
社会 (地理的分野)	帝国	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土	※「章を振り返ろう」において、地理的な見方・考え方や身近な地域との関連性を考えるなどの工夫をしている。 ※巻頭にSDGsの概要を示し、関連のある内容に印をつけて取り上げており、「みらい楽」「みらい学」へつなげていくのに適している。
社会 (歴史的分野)	山川	中学歴史 日本と世界 改訂版	※各章末に政治・経済や世界とのつながりと変化をまとめ、振り返る課題が示され、思考力、判断力と表現力を高める工夫がある。 ※高等学校公民科「共生」で学習する内容に関連する教材を取り上げている。
社会 (公民的分野)	東書	新編 新しい社会 公民	※思考力、判断力、表現力等の育成を充実させるために、単元を貫く課題を設定し、さらに深める課題も設定している。
地 図	帝国	中学校社会科地図	※環境問題やSDGsが意識されており、中学校の総合「みらい楽」、高等学校の総合「みらい学」へつなげていくのに適している。
数 学	数研	これからの 数学	※課題を通して解決するための課題と学習の中で大事にしたい問いかけを提示し、見通しをもって学習できるよう工夫している。 ※「発展マーク」では、高等学校で学ぶ内容も取り扱っている。
理 科	学図	中学校 科学	※観察・実験の課題設定から結果考察までの過程を一連に示すことで生徒が見通しをもって取り組めるように工夫している。 ※持続可能な社会や環境保全等に関する内容を取り扱っている。
音楽(一般)	教芸	中学生の音楽	※1年間の学習内容と三つの資質・能力との関連を「学びの地図」のマトリックス表で示し、学びの見通しを持てるよう工夫している。
音楽 (器楽合奏)	教芸	中学生の器楽	※我が国の伝統文化に関連して、和楽器を演奏する姿勢や奏法、礼儀作法などを幅広く掲載している。
美 術	光村	美術	※「表現」と「鑑賞」の相互の関連を意識し、1つの題材の中で一体的に学習できるよう構成している。 ※鑑賞を深めたり、表現の幅を広げたりできる二次元コンテンツが豊富に用意され、高等学校芸術科美術へつなげることができる。
保健体育	学研	新・中学保健体育	※各章ごとに探究とまとめの問題を配置し、学習内容の理解と発展的な学習ができるよう工夫している。 ※他教科と関連する学習課題や資料を取り扱っている。
技術・家庭 (技術分野)	東書	新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology	※問題解決のプロセスに沿った紙面構成で、自らの問題解決に主体的に取り組むことができる。 ※持続可能な社会の構築を考えるワークシートを掲載している。
技術・家庭 (家庭分野)	東書	新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して	※取り組みやすい実習例を多く取り上げ、実践的・体験的な学習活動が行えるよう工夫している。 ※効果的に活用できるデジタルコンテンツを豊富に掲載している。
英 語	三省堂	NEW CROWN English Series	※4技能5領域をバランスよく育成するように配慮している。 ※基礎・基本の習得から、基礎的な力を活用して長文を読んだり、話したり書いたりする活動まで段階を追って学習できる工夫がある。
道 徳	あか図	中学生の道徳	※複数教材を組み合わせたユニットを各学年に配置し、連続して学習ができるようにしている。

1 教育目標

「個を活かし、公に生きる」人間の育成
「グローバルに活躍する」人間の育成

2 身につけてほしい5つの力

感じる力、考える力、行動する力、向上する力、関わる力（5K力）

3 特色ある教育活動**(1) 発展的な学習**

週3回の7時間授業により、授業内容の充実をはかり、「先取り学習」を取り入れます。附属中学校卒業後を見据えた授業計画で、豊かな知識と技能を身につけられるようサポートし、一人ひとりの学力を最大限に伸ばします。

国語、社会、数学、理科、英語の5教科に加え、一部の実技教科でも1学級を2グループに分ける少人数授業を実施します。中高一貫校を特徴づける、6年間を見通した専門性の高い授業が展開されます。ディスカッションやディベートを実施し、生徒の発言の機会を増やすことで、思考力や表現力を高めます。

(2) 魅力的な特別授業

能楽体験や高精度複製の文化財を用いた鑑賞などにより、豊かな感受性を養います。また、3年生では、茶道体験を行い、日本の文化に興味関心を持たせます。楽茶碗の制作、干菓子盆の漆の絵付け、さらに和菓子の文化や歴史を学び、他者へのおもいやりやおもてなしの心を育みます。

中高6年間を通して、大学や企業、さらには国際機関等と連携し、地域、日本から世界に視野を広げながら学びを深めていきます。各分野の専門家による講演を通して、知的好奇心を高めます。

(3) みらい楽

生徒自らが課題を設定し、解決に向けて情報を収集・整理・分析したり、周囲の人と意見交換・協働したりしながら学習を進めます。「テーマ設定」→「情報収集」→「課題分析」→「仮説構築」→「検証」→「発表」→「振り返り」のサイクルを繰り返すことで探求を深めます。「振り返り」は、学校独自で作成した指標に基づいて行い、一人ひとりにどのような力がついたかを確認します。

自分の興味関心に応じて小グループに分かれ、グローバルな視点を持ちながら、地域の課題に目を向け、仲間と協力して課題解決を図るプロジェクト型学習を行います。市役所などの関係機関と連携し、解決に向けて情報を集めたり、意見交換をしたりします。

(4) 中高6年間を見据えたキャリア教育

将来のキャリアを意識した進路サポートを積極的に行います。高校進路指導部の教員による進路講話を実施し、早朝から高校および大学進学に向けた準備を進める機会とします。また、福知山高校独自の進路プログラムである「医学進学プログラム」、「教員養成プログラム」、「国際理解プログラム」、「地域連携プログラム」で行われる講演会や研修会に中学生も参加し、医療・教育等での人材育成を図ります。さらに、文部科学省WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）構築支援事業や京都府教育委員会主催のSSN（スーパーサイエンスネットワーク）京都の取組に中学生も参加することができます。

福高祭（文化祭、体育祭）や土曜講座、ボランティア等に高校生と一緒に取り組む機会を設定します。また、定期的に行われる本校卒業生と在校生との交流会では、高校生活の様子や大学受験について実体験に基づいた話を聞くことができます。

京都府立福知山高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番号	発行者 略称	採 択 理 由
国語	新編 新しい国語	2	東 書	国語科では、主体的な学習の進め方、思考力、判断力、表現力等の育成を図る教材の取り扱い、高等学校との関連などの観点から検討し、本書が適切であると考える。 ◇主体的に学習に取り組める教材 ・教科書全体を通して、主体的に学習を進めるスタイルが貫かれている。問題解決的な言語活動が多く設けられ、生徒同士が議論を通して考えを深めたり、互いの考えを活かして結論をまとめたりするなど、協働して学びを深められるように工夫されており、総合的な学習の時間「みらい楽」を意識した指導が可能である。【別表4】 ◇思考力、判断力、表現力等の育成を図る教材 ・各教材冒頭の「見通す」で育成する「言葉の力」に対応するように「問いかけ」が明示され、生徒が何に着目して学習すればよいのかが分かるように工夫されている。【別表3】 ◇高等学校との関連 ・補足的・発展的な学習ができる配慮がされている。教科書に示されている二次元コードから利用できるデジタルコンテンツが充実しており、高等学校の学習との関連が図られている。【別表1】
書写	新編 新しい書写	2	東 書	書写では、中高一貫教育の教育課程に関連し、他教科、「総合的な学習の時間」に関連する教材の取り扱い、伝統的な文字文化に関する内容や社会生活と関連した内容の取り扱い、高等学校との関連などの観点から検討し、本書が適切であると考える。 ◇他教科との関連した教材 ・書写に関する用具や用材について動画で作り方を紹介するなど、日本の伝統産業や文化に親しみ、多方面に興味をもつように工夫されている。【別表1】 ◇伝統的な文字文化教材や文字を活用した身の回りの多様な表現として、実際に使われているもの（看板など）の写真や実物例を多数示している。【別表1、5】 ◇高等学校との関連 ・古典とされる書に触れ、文字文化への関心を高めることにより、高等学校芸術科書道との関連を図っている。【別表5】

京都府立福知山高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番号	発行者 略称	採 択 理 由
地理	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土	46	帝国	社会（地理的分野）では、地理的な知識及び技能や思考力、判断力、表現力等の育成などに関する教材の取扱い、中高一貫教育との関連について検討し、本書が適切であると考える。 ◇地理的知識及び技能の育成【別表2】 ・「確認しよう」において、本文中から学習上の重要事項を書き出す作業が設定されているなど、地理的技術を効果的に習得させる工夫がされている。 ・写真や図版から地理的事象の背景や因果関係が読み取れるよう工夫するなど、「地理的な見方・考え方」を働かせるよう配慮されている。 ◇思考力、判断力、表現力等の育成【別表3】 ・「説明しよう」では学習した内容を踏まえ、自らの言葉で説明するなど、言語活動の充実を図りながら思考力、判断力、表現力を高める工夫がされている。 ・「章を振り返ろう」において、「地理的な見方・考え方」を働かせて説明する、身近な地域との関連性を考えるなどの工夫がされている。 ◇中高一貫教育との関連【別表6】 ・巻頭にSDGsの概要を示し、関連のある内容に印を付けて取り上げしており、総合的な学習の時間に行う「みらい楽」、高等学校での総合的な探究の時間「みらい学」へとつなげていくのに適した内容となっている。

京都府立福知山高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番号	発行者 略称	採 択 理 由
歴史	中学歴史 日本と世界 改訂版	81	山川	教育基本法及び学習指導要領社会科（歴史的分野）の目標「社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を培う。」に従って、三つの資質・能力、主体的・対話的で深い学びを重点として構成し、学習指導要領に示された内容を習得できるように、小学校の内容及その系統性を図りながらバランス良く選択・配列している。同校の中高一貫教育のねらいに鑑み、本書が適切であると考える。 ◇基礎的・基本的な知識及び技能の習得と定着【別表2】 歴史学習の導入で、時代区分方法を小学校での既習人物を例にまとめている。生徒の興味・関心を引き出すため、導入資料として年表や図版・イラストが掲載されており、歴史の流れや時代の特色をつかむことができるようにしている。また、単元末には記述式でまとめる間が設定されており、基礎的・基本的な知識が確実に定着するよう工夫している。さらに、知識及び技能の習得を図るため、我が国の歴史に関連の深い世界の出来事を適切に取り扱っている。 ◇思考力、判断力、表現力等の育成【別表3】 各章末に、政治・経済や世界とのつながりと変化についてまとめ、振り返る課題が示されており、歴史事象に対する思考力、判断力とそれを表現する力を高めることができるように工夫されている。さらに、各種資料を効果的に配置し、考察を深めるための視点を示し、各見開きに導入の問いとまとめの課題を示している。 ◇生徒が主体的に学習に取り組むことができる配慮【別表4】 生徒が主体的に学習意欲を高めるために、各時代の特徴的な写真や絵画とともに世界地図と年表を取り上げ、日本の歴史を時間軸と空間軸からグローバルに概観し、学習の目的をつかめるようにしている。また、1時間ごとに学習課題を設定し、学習課題を解決する手掛かりとなる見方・考え方を欄外に明示している。さらに、多くのコラムが各年代にバランスよく配置されている。 ◇中高一貫教育との関連【別表1】 高等学校公民科「公共」で学習する内容の一部に関連する教材を取り上げている。また、「地域からアプローチ」で地域を通して歴史学習を紹介したり、「身近な地域を調べよう」で、レポートの書き方や発表でのわかりやすい伝え方などについて紹介したりしており、同校が総合的な学習の時間に行う「みらい楽」、高等学校での総合的な探究の時間「みらい学」へと発展させていくのに適した内容となっている。

京都府立福知山高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番号	発行者 略称	採 択 理 由
公民	新編 新しい社会 公民	2	東 書	教育基本法及び学習指導要領社会科（公民的分野）の目標「現代社会の見方・考え方を働かせ、課題を探究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を培う。」に従って、三つの資質・能力、主体的・対話的で深い学びを重点として構成し、学習指導要領に示された内容を習得できるように、小学校の内容及その系統性を図りながらバランス良く選択・配列している。同校の中高一貫教育のねらいに鑑み、本書が適切であると考える。 ◇基礎的・基本的な知識及び技能の習得と定着【別表2】 基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るため、1時間の学習の流れを各項で設定された学習課題について、資料等を活用し、考察することを通して解決し、振り返りができる構成になっている。また、単元のまとめとして、学習した語句を整理することができ課題を設定している。折り合いをつけることに關して、具体的な5事例を取り上げている。各章末の「章の学習をふり返ろう」に課題を設定し、学習内容の定着を図る工夫をしている。 ◇思考力、判断力、表現力等の育成【別表3】 思考力、判断力、表現力等の育成を充実させるために、単元を貫く課題を設定し、さらに深める課題も設定している。社会的事象を多面的・多角的に考察し、表現力を充実させる工夫として、具体的な事例をあげている。表現活動の充実への工夫として、話し合い活動やディベートを深める手法などを紹介している。 ◇主体的・対話的な学習【別表4】 生徒が主体的・対話的に学習できるように、「みんなでチャレンジ」や「見方・考え方」で課題を設定している。また、様々な題材のコラムで、興味・関心を高めるよう工夫している。 ◇地理・歴史的分野との関連【別表5】 巻頭に地理・歴史的分野との関連を示す資料を掲載している。また、関連するページに「分野関連マーク」や「二次元コード」を示すなど、効果的に学習できるよう工夫をしている。また、他教科等との関連では、教科関連マークで示している。 ◇中高一貫教育との関連【別表1】 「未来にアクセス」や「もっと知りたい」で学習内容をさらに詳しく説明したり、「みんなでチャレンジ」で関連する内容として取り上げるものを設定していること、また各章末では身近な生活を例にした課題を設定していることから、教科学習だけでなく、同校の総合的な学習の時間に行う「みらい案」、高等学校での総合的な探究の時間「みらい学」へとつなげていくのに適した内容が示されているため、適切であると考える。

京都府立福知山高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番号	発行者 略称	採 択 理 由
地図	中学校社会科地図	46	帝国	地図では、社会科における知識及び技能や思考力、判断力、表現力等の育成などに関する教材の取扱い、中高一貫教育との関連について検討し、本書が適切であると考える。 ◇社会科における知識及び技能の育成【別表2】 ・小学校での履修内容の振り返りを取り入れた記載方法となっている。 ・地図の見方・考え方を身に付けるために「地図活用」に学習課題を明示するなどの工夫がされている。 ◇思考力、判断力、表現力等の育成【別表3】 ・主題図、分布図などを適宜掲載しているとともに、学習内容を明記することによって、社会科としての見方・考え方が身に着くように配慮されている。 ◇中高一貫教育との関連【別表6】 ・防災の資料が充実し、理科との教科横断的な活用も可能である。環境問題やSDGsが意識されており、総合的な学習の時間に行う「みらい案」、高等学校での総合的な探究の時間「みらい学」へと繋がっていくのに適した内容となっている。

京都府立福知山高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番号	発行者 略称	採 択 理 由
数学	これからの 数学	104	数 研	数学では、数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、基礎的・基本的な内容の習得を図るための配慮、思考力、判断力、表現力等の育成を図るための配慮、生徒が見通しを持ち、主体的に学習に取り組むことができる配慮、高等学校との関連について検討し、本書が適切であると考える。 ◇基礎的・基本的な内容の習得を図るための配慮 ・学び直しができるよう、側注に「ふりかえり」を設けている。 ・区切りごとに「まとめ」、項目末に練習問題、節末に「確認問題」、章末に「問題A、B」が設けられており、理解の確認を行うとともに、復習できるよう工夫されている。【別表2】 ◇思考力、判断力、表現力等の育成を図るための配慮 ・「やってみよう」「調べよう」「考えよう」では、学習した内容に関連した話題や問題があり、内容をさらに深める活動ができるよう示されている。 ・「TRY」では、活動を通して解決するための課題があり、さらに思考力を深める内容となっている。【別表3】 ◇生徒が見通しを持ち、主体的に学習に取り組むことができる配慮 ・導入で人物キャラクターによる対話を入れることで、学ぶ内容の見通しを持つことができるように工夫されている。 ・活動を通して解決するための課題「TRY」と学習の中で大事にしたい問いかけ「Q」を提示するという流れで見通しをもって学習できるように工夫されている。【別表4】 ◇高等学校との関連 ・「発展マーク」で当該学年の学習指導要領に示されていない内容、高等学校で学習する内容と関連した内容を取り上げている。【別表5】

京都府立福知山高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番号	発行者 略称	採 択 理 由
理科	中学校 科学	11	学図	理科では、基礎的・基本的な内容の定着とともに、思考力、判断力、表現力等の育成を図るための教材の取扱い、さらに中高一貫教育との関連について検討し、以下の理由により本書が適切であると考え。 ◇学習指導を進める上で適切な内容や構成 実験・観察・実習が適切に配置され、単元・章の始めに内容に関連する既習事項を示している。単元の始めに必要な実験技能の目標を示し、巻末で基本的な実験操作をまとめて記載している。単元末及び巻末に練習問題を掲載し、索引に適切に基本用語を掲載している。導入や本編内において、生徒自らが課題を見出せる工夫や生徒の興味・関心を高める工夫が凝らされている。具体例やものの見方・考え方を各ページ下欄に示すことで思考を働かせる工夫を凝らしたり、観察・実験の課題設定から結果考察までの過程を一連に示すことで生徒が見通しをもって取り組めるように工夫したりしている。 実験・観察の結果分析において、科学的に探究する方法が丁寧に記されている。また、学年ごとに段階を踏んで探究的に考える力を身に付けられる構成が成されている。 巻頭や単元の最初に学習の流れを明示するなど、見通しを持って学習に取り組めるよう工夫をしている。主体的に取り組める探究的な学びの場面を提示し、内容の解説や単元末の振り返り問題を記載している。対話的な学習の場面を設けるとともに、適宜キャラクターと吹き出しを用いた対話の具体例を記載している。【別表2、3、4】 ◇使用上の便宜の工夫 ユニバーサルデザイン化に向けた工夫を行っている。また、各ページに設けられた二次元コードから、全ページをウェブページとして再構築した「ミライ教科書」を使用できる。全学年の巻末に資料があり、デジタル教科書がある。【別表7】 ◇中高一貫教育との関連 「発展」と明記した形式で教科書末尾に掲載し、本編に関連した発展的な学習内容や語句の解説、科学的なトピックを、読み物資料を中心として記載している。今日的な課題については、3年の最終単元で集中的に取り扱っている。調べ学習や自由研究、発展的な実験・観察に繋がる内容が記載されている。各学年で「SDGsを意識して脱炭素社会へ」「自然の恵みと災害」の項目を設け、持続可能な社会や環境保全、防災・減災に関する内容を取り扱っている。【別表5、6】

京都府立福知山高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番号	発行者 略称	採 択 理 由
音楽 一般	中学生の音楽	27	教芸	教育基本法及び学習指導要領音楽科の目標に従って、生活や社会の中の音や音楽との関わり、三つの資質・能力、主体的・対話的で深い学びを重点として構成し、学習指導要領に示された内容・配列している。我が国及び世界の文化、音楽を理解して国際感覚を身に付ける中高一貫校としてのねらいに鑑み、本書が適切であると考える。 ◇学習指導要領の目標達成のための工夫【別表1、2】 ・1年間の学習内容と三つの資質・能力との関連をマトリックス表で示し、学びの見通しを持つことができるよう構成を工夫している。また、全教材の左端に目標及び音楽を形づくっている要素を示し、知覚と感受の関わりがより音楽の価値を考えることができる。 ・音楽と生活、社会、文化などとのつながりや音楽の価値を考える題材を巻頭に示し、社会とつながりの視点をテーマとして全体に配置している。 ◇主体的・対話的で深い学びに対応した工夫【別表3、4】 ・教師役のキャラクターによる課題提示や助言、生徒役のキャラクターによる疑問や気付きなどの吹き出しを随所に配置し、思考力・判断力・表現力などの育成を図り、主体的な課題解決のきっかけとなるよう工夫している。また、歌唱分野の表現の工夫や、鑑賞分野の曲想と音楽の構造との関わりなどについての考えを書き込むワークシートを提示しながら、対話的に学ぶ活動例を示している。 ◇我が国や諸外国の伝統や文化、国際理解の視点を重視した内容構成【別表1、6】
音楽 器楽	中学生の器楽	27	教芸	教育基本法及び学習指導要領音楽科の目標に従って、生活や社会の中の音や音楽との関わり、三つの資質・能力、主体的・対話的で深い学びを重点として構成し、学習指導要領に示された器楽分野などの内容を習得できるように器楽教材を精選し、小学校の内容と系統性を図っている。各楽器の奏法の写真や二次元コードで表わっている。特に、日本の伝統的な楽器は、五線譜と伝統的に使用してきた楽譜の二種類を併記し、口唱歌を添えている。また音楽一般の教材と関連させた教材も多く、表現と鑑賞を一体的に学べるよう工夫している。我が国及び世界の文化や音楽を理解して国際感覚を身に付ける中高一貫校としてのねらいに鑑み本書が適切であると考える。 ◇学習指導要領の目標達成のための工夫及び基礎的な技能を身に付けることができる適切な教材配置【別表1、2】 ・1年間の学習内容と三つの資質・能力との関連を「学びの地図」のマトリックス表で示し、楽器をリコードや二次元コードによってわかりやすく示している。 ◇主体的・対話的で深い学びに対応した工夫【別表3、4】 ・「学びのコンパス」で曲の構成やパートの役割を考えて対話的に学ぶ例を示している。またすべての教材に二次元コードを配置して模範演奏を示し、主体的な学びに対応している。 ◇我が国や諸外国の伝統や文化、国際理解の視点を重視した内容構成【別表1、6】 ・各和楽器奏者からのメッセージや楽器を演奏する姿勢や奏法、礼儀作法など、背景となる文化や歴史などについて幅広く掲載している。巻頭の「音楽って何だろう？」では世界のさまざまな民族楽器の写真を紹介している。

京都府立福知山高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番号	発行者 略称	採 択 理 由
美術	美術	38	光村	美術では、教科及び各学年の目標達成に必要な工夫、内容や構成、編集・体裁、中高一貫教育のねらいと関連などの観点から検討し、本書が適切であると考える。 ◇教科及び各学年の目標達成に必要な工夫 ・学習指導要領の目標に基づいた内容をバランス良く取り上げている。 ・各題材で3観点の目標が、生徒にも分かりやすい簡潔な文章で示され、美術科での学習を通して資質・能力が育まれるよう配慮されている。 ・「表現や鑑賞の題材」では「表現」と「鑑賞」の相互の関連を意識し、1つの題材の中で一体的に学習できるよう構成されている。【別表1】 ◇内容や構成 ・1年では図画工作科とのつながりを考え、2・3年生では、身に付けた資質・能力をさらに深め、歴史や社会との関係に視野を広げるなど、内容の系統性や学年の発達段階に配慮されている。 ・表現と鑑賞の多様な題材が「1年」と「2・3年」2分冊で構成され、資質・能力を相互に関連させながら育成できるよう構成されている。 ・美術1の別冊資料に材料や用具の扱い方や〔共通事項〕に関わる内容をまとめ、2・3年次にも使用できるよう工夫されている。【別表1、2、3】 ◇編集・体裁 ・文字がやや小さくなる場合はユニバーサルフォントを使用したり、図版と図版の間をあけたりして、見やすいように工夫されている。 ・教科書紙面での作品鑑賞と、解説動画や書き込みツールなどのデジタルコンテンツを活用することで、鑑賞を深めることができるよう工夫されている。【別表2、4、7】 ◇中高一貫教育のねらいと関連 ・鑑賞を深めたり、表現の幅を広げたりできるよう二次元コンテンツが豊富に用意され、学びを深められる工夫があり、高等学校芸術科美術へつなげることができる。【別表7】

京都府立福知山高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番号	発行者 略称	採 択 理 由
保健 体育	新・中学保健体育	224	学研	各章ごとに「探究しようよ!」と「章のまとめ」が配置されていて、学習内容の理解と発展的な学習ができるように工夫している。また、各章ごとに小学校で学習したことや高等学校で学習することを関連付けて示している。従って、中高一貫校の特色ある教育を推進するには、本書が適切であると考ええる。 ◇基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮【別表2】 「ウォームアップ（課題の発見）」「学習の課題」「本文と資料」「エクササイズ（課題の解決）」「学びを生かす（学びの活用）」の流れに沿って学習を進めることで、基礎的・基本的な知識及び技能を習得できるように配慮している。 単元ごとに二次元コードから外部サイトへアクセスすることができ、学習内容を深めることができる。 ◇思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮【別表3】 章末に「探究しようよ!」が配置されており、自ら課題を見つけ解決に向けて取り組むことで、更に深い学びが得られるよう工夫している。「もっと広げる・深める」では、身に付けた知識を基に、興味や関心に応じてより深く学ぶことができるように工夫されている。また、各項目に設けられた「エクササイズ」、「学びを生かす」では、学習した知識や情報を基に、思考力・判断力・表現力等の育成を図るように配慮している。 ◇生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮【別表4】 「エクササイズ」、「学びを生かす」、「実習」の中で「協働」のマークで示されている場面では、教え合う、学び合う活動の中で、主体的・対話的かつ協働的に学習に取り組むことができるように配慮している。また、各章末に、「もっと広げる・深める」「探究しよう」を設け、学習内容に関連が深く興味をもちやすい課題を取り上げ、主体的に学習に取り組むことができるように配慮している。 ◇学習指導要領に示していない内容の取扱い【別表5】 「探究しようよ」、「発展」マークで発展的な内容の資料や学習課題について取り扱っている。 ◇他の教科等との関連【別表6】 理科、社会、技術・家庭・特別の教科 道徳の内容と関連する学習課題や資料を本文中に取り扱っている。 ◇表記・表現の工夫【別表7】 学習内容を広げたり、深めたりするために、「探究しようよ」のページを用意している。文中のキーワードや関連する本文ページをマークで示し、本文中に資料と関連付ける印がある。ユニバーサルデザインに配慮された文字、色、レイアウトとなっている。

京都府立福知山高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番号	発行者 略称	採 択 理 由
技術	新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology	2	東書	技術・家庭科（技術分野）では、以下の観点から検討し、本書が適切と考える。 ◇教科及び各学年の目標達成に必要な内容 学習指導要領に示す目標の達成のための工夫として、技術の「見方・考え方」については、ガイダンスにおいて「技術のめがね」「最適化の窓」で社会における技術を見ることができ、既得の技術が得られるようになり、各編の導入において、身の回りの製品を取り上げ、既存の技術の工夫を読み取ることができるよう工夫されている。【別表1】 学習内容が、身の回りの問題解決から社会の問題解決まで幅広く収載されている。統合的な問題解決については、具体例が掲載されている。【別表1】 ユニバーサルデザインフォントが採用されており、見やすく読みやすい。【別表7】 ◇内容と構成 各領域の1章で「理解する」、2章で「問題に取り組む」、3章で「つなげる、広げる」というように、技術の「見方・考え方」を重視した構成になっている。 基礎的・基本的な知識や技能については「技術のとびら」「TECH Lab」でまとめられている。安全については巻頭に「作業を安全に楽しく進めよう」が示されており、各章での安全や衛生のポイントでは「安全」マーク、「衛生」マークを付けて、生徒の注意を喚起している。【別表2】 問題解決例では、問題解決のプロセスに沿った紙面構成となっており、自らの問題解決に主体的に取り組むことができるようになっている。【別表3】 生徒が自主的に学習に取り組むことができる配慮として、各編末には「学習のまとめ」があり、評価の観点である「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」について、学習内容の定着を確認できるようになっている。【別表4】 各編の最終章には、持続可能な社会の構築に向けて、生徒自身が考えられるようなワークシートが掲載されている。【別表3】 ◇編集・体裁【別表7】 写真やイラスト、資料は充実している。学習の流れを全ページ統一することで見やすいレイアウトになっている。 すべての書体に、ユニバーサルデザインフォントを使用し、幅広い色覚特性に適應できるような配色とデザインになっており、小学校で学習していない全ての漢字にふりがながついている。

京都府立福知山高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番号	発行者 略称	採 択 理 由
家庭	新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を指して	2	東書	技術・家庭科（家庭分野）では、基礎的・基本的な知識及び技能の習得や思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮、生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮、学習指導要領に示していない内容の取扱い、他の教科等との関連、表記・表現の工夫の観点から検討し、本書が適切と考える。 ◇学習指導要領に示す目標の達成のための工夫 ・技術・家庭科（家庭分野）で学習する内容について、3年間を見通した学習イメージを持たせ、生活の営みに係る見方・考え方を働かせながら、各内容を横断的に学習できるように工夫がされている。【別表1】 ◇基礎的・基本的な知識及び技能の習得や思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮、生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮 ・学習の目標や学習課題が示され、見通しを持って学習を進めることができるように配慮されている。また、学習のまとめでは、学習を振り返ることで学習内容の定着を図るとともに、学んだことが生活に生かされるように配慮されている。【別表2、3、4】 ・調理や製作等の実習では、手順や技能面の詳細について写真やイラストを用いて分かりやすく示し、生徒が基礎的・基本的な知識及び技能を習得できるように工夫されている。【別表2】 ・取り組みやすい実習例を多く取り上げ、実践的・体験的な学習活動が行えるように工夫されている。また、写真やデジタルコンテンツを確認することで授業だけでなく、家庭での実践につながるように工夫されている。【別表2、3、4】 ◇学習指導要領に示していない内容の取扱い、他の教科等との関連 ・発展的な学習内容には、基礎的・基本的な内容を踏まえ、生徒の興味・関心に応じて深めていくことのできる内容を取り上げている。また、高等学校の学習や他教科の学習につなげるための工夫がされている。【別表5】 ・他教科や特別の教科 道徳、小学校等の学習内容との関連性を示し、生徒が見通しをもった学習ができるように工夫されている。【別表6】 ◇使用上の便宜が工夫されている ・キャラクターや写真、挿絵を多く用いることで、生徒の学習への意欲を促すように工夫されている。また、学習の場面で効果的に活用できるデジタルコンテンツが豊富に掲載されている。【別表7】

京都府立福知山高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番号	発行者 略称	採 択 理 由
英語	NEW CROWN English Series	15	三省堂	英語では、全体としての特徴や創意工夫、基礎的・基本的な内容の定着を図るための配慮及び思考力、判断力、表現力等の育成を図るための配慮、生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮について検討し、本書が適切であると考え。 ◇全体としての特徴や創意工夫 ・学習指導要領の示す目標に従い、コミュニケーション能力の基礎を養うために、単元構成を工夫し、単元ごとの学習到達目標を明確に示している。小学校との接続のための工夫や学習した内容を統合して活動する工夫、即興で伝え合う工夫を取り入れている。【別表1】 ◇基礎的・基本的な内容の定着を図るための配慮及び思考力、判断力、表現力等の育成を図るための配慮 ・4技能5領域をバランスよく育成するように配慮している。【別表2】 ・小單元ごとに、基本文について4技能5領域を用いた基本的な活動を行っている。また、主要単元で複数の技能・領域を統合的に活用した自己表現活動を設定している。【別表2】 ・基礎・基本の習得から、基礎的な力を活用して長文を読んだり、話したり書いたりする活動まで、段階を追って学習できるような工夫をしている。【別表3】 ◇生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮 ・学習の見通しを持ったり、学習内容を振り返ったりする工夫をしている。また、聞いたり読んだりしたことについて、意見を述べ合うなどの力が育成できる構成となっている。【別表4】

京都府立福知山高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番号	発行者 略称	採 択 理 由
特 別 の 教 科 道 徳	中学生の道徳	232	あか図	特別の教科 道徳科では、教科及び各学年の目標達成に必要な内容、発達段階に対する配慮、内容の選択及び扱い、校正・全体の文量及び配分、編集・体裁、中高一貫教育のねらいとの関連について検討し、本書が適切であると考え。 1 教科及び各学年の目標達成に必要な内容 (1) 本冊ですべての内容項目を扱っており、読み物を補足する資料を掲載することにより、生徒が学習内容に対して考えるための支援がなされている。 (2) 「いじめ」、「情報モラル」、「キャリア」をテーマとし、複数教材を組み合わせたユニットを各学年に配置し、連続して学習ができるようにしている。 2 内容や構成 (1) 人間としての生き方についての考えを深める学習を意識できるように、実在の人物にクロージアアップする教材が掲載されている。 (2) 教材の始めに内容項目を明示しないことで、生徒が教材と主体的に向き合い、自らの道徳的価値への理解を基に、考えたり話し合ったりできるようにしている。また、各教材に、「自分を見つめる」ことと「物事を広い視野から多面的、多角的に考える」ことに重点を置いた発問が示されており、主体的な思考や対話的な活動を促す構成となっている。 (3) いじめ防止とも関わりの深い内容項目である「公正、公平、社会正義」を重点項目とし、これらに関する教材について全学年複数の教材を配当している。また、「友情、信頼」、「思いやり、感謝」、「生命の尊さ」など、様々な道徳的価値の理解を深めることを通していじめ防止につながるように教材を選定している。 3 編集・体裁 (1) 各教科の学習内容や他の教育活動などとの時期的・内容的関連を考慮し、掲載順に扱うことを想定して配列されている。全体で登場する男女のバランスが考慮され、挿絵ではスラックス姿の女生徒や性別を規定しない生徒の姿も描くなど、多様性にも配慮されている。 4 中高一貫教育のねらいとの関連について (1) 生徒が自分の考えをもとに討論し、他者の多様な感じ方や考え方に触れることで、多面的・多角的なものの見方や考え方ができるようにすることや、問題解決的な学習や体験的な学習、キャリア学習の視点を取り入れることは、中高一貫教育の過程で6年間を見据えて取り組んでいる内容であり、教材として適切である。

令和7年度京都府立南陽高等学校附属中学校使用教科用図書一覧

令和7年度から使用開始

教科・種目	発行者	教科書名
国語	東京書籍	新編 新しい国語
書写	光村図書出版	中学書写
社会(地理的分野)	帝国書院	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土
社会(歴史的分野)	山川出版社	中学歴史 日本と世界 改訂版
社会(公民的分野)	東京書籍	新編 新しい社会 公民
地図	帝国書院	中学校社会科地図
数学	振興出版社啓林館	未来へひろがる数学
理科	学校図書	中学校 科学
音楽(一般)	教育芸術社	中学生の音楽
音楽(器楽合奏)	教育芸術社	中学生の器楽
美術	日本文教出版	美術
保健体育	大修館書店	最新 中学校保健体育
技術・家庭(技術分野)	東京書籍	新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology
技術・家庭(家庭分野)	教育図書	新 技術・家庭 家庭分野 暮らしを創造する
英語	振興出版社啓林館	BLUE SKY English Course
特別の教科 道徳	東京書籍	新編 新しい道徳

南陽高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択について

1 採択にかかる主な調査内容

(1) 教育目標や教育課程の特色

本校では、「Science」「Global」「Philosophy」の3つを教育の柱とし、語学力・創造力・哲学を備え、新たな価値を創造する人を育てたい人間像としている。このため、この3つの教育活動を進めるにあたって効果的な工夫について調査した。

(2) 中高一貫教育校としての教育課程編成

本校では、中高6年間を見通した教育課程を編成している。このため、発展的な内容についても高校との接続について工夫されているか調査した。

(3) 活用する力の育成

思考力・判断力・表現力の育成に関する教材の工夫について調査した。

2 採択案

教科・種目	発行者	教科書名	採択理由
国 語	東書	新編 新しい国語	※問題解決的な言語活動を多く設け、協働して学びを深められるよう工夫している。 ※学習の参考や深化・拡充のための資料を、2次元コードコンテンツとして多数用意している。
書 写	光村	中学書写	※文字を活用した身の回りの多様な表現や伝統的な文字文化教材を取り扱っている。 ※SDGsと関連させた題材等により、他教科との関連を図っている。
社会 (地理的分野)	帝国	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土	※各章・節ごとに「学習を振り返ろう」のページを設け、地理の知識及び技能を用いて思考、判断、表現する力を育成する工夫がある。 ※日本の文化や伝統の事例が多く取り上げられていて、「NANYO DEPARTURE PROGRAM」の目標達成に資する内容になっている。
社会 (歴史的分野)	山川	中学歴史 日本と世界 改訂版	※各章末に政治・経済や世界とのつながりと変化をまとめ、振り返る課題が示され、思考力、判断力と表現力を高める工夫がある。 ※高等学校公民科「現代社会」で学習する内容に関連する教材を取り上げている。
社会 (公民的分野)	東書	新編 新しい社会 公民	※思考力、判断力、表現力等の育成を充実させるために、単元を貫く課題を設定し、さらに深める課題も設定している。
地 図	帝国	中学校社会科地図	※資料に世界全体や世界諸地域の課題を把握できる工夫があり、地理的分野だけでなく歴史的分野や公民的分野の内容も充実している。
数 学	啓林館	未来へひろがる数学	※「学びをいかそう」では、数学を用いて身の回りの問題を解決する課題や、数学を活用して発展・深化する課題を示している。 ※「発展マーク」で高等学校と関連する学習内容を取り上げている。
理 科	学図	中学校 科学	※観察・実験の課題設定から結果考察までの過程を一連に示すことで生徒が見通しをもって取り組めるように工夫している。 ※持続可能な社会や環境保全等に関する内容を取り扱っている。
音楽(一般)	教芸	中学生の音楽	※1年間の学習内容と三つの資質・能力との関連を「学びの地図」のマトリックス表で示し、学びの見通しを持てるよう工夫している。
音楽 (器楽合奏)	教芸	中学生の器楽	※我が国の伝統文化に関連して、和楽器を演奏する姿勢や奏法、礼儀作法などを幅広く掲載している。
美 術	日文	美術	※各学年の発達段階を考慮した題材設定をし、表現と鑑賞が一体的に学習できるよう配慮している。 ※原寸大図版など干涉を深めるページを用意し、高等学校芸術科の学びへの意欲関心を高める工夫がある。
保健体育	大修館	最新 中学校保健体育	※学習項目の構成や導入活動を工夫し、主体的に学習に取り組めるよう配慮している。 ※コラム等で発展的な内容の資料や学習課題を取り扱っている。
技術・家庭 (技術分野)	東書	新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る technology	※問題解決のプロセスに沿った紙面構成で、自らの問題解決に主体的に取り組むことができる。 ※持続可能な社会の構築を考えるワークシートを掲載している。
技術・家庭 (家庭分野)	教図	新 技術・家庭 家庭分野 暮らしを創造する	※様々な実践的・体験的活動を通して、より学習を深められるよう工夫している。
英 語	啓林館	BLUE SKY English Course	※4技能の活動がバランスよく構成され、基本的な文を学べる。 ※新出語句のチェック欄や音読回数記入欄など、主体的に学習に取り組めるように工夫がされている。
道 徳	東書	新編 新しい道徳	※複数の教材資料を用いて、考えたり話しあったりする問題解決的な学習を取り扱っている。 ※キャリア教育の教材等、高等学校に繋がる内容を取り上げている。

学校の概要

京都府立南陽高等学校附属中学校

1 育てたい人間像

語学力・創造力・哲学を備え、新たな価値を創造する人

2 教育の3つの柱

・ Science

関西文化学術研究都市の企業・研究所とネットワーク化した専門性の高い授業とICTやITツールの活用等により、本物の学びを実現します。

・ Global

海外研修をはじめ、6年間の英語教育により、高校3年時には海外の大学への進学要件(TOEFL iBT61以上)をクリアすることをめざします。

・ Philosophy

先人の生き方や考え方を学ぶことにより、日本の伝統文化を理解し、哲学と信条を持って物事に臨む人間を育成します。

3 特色ある教育活動

(1) Da Vinci

教育の3つの柱、SCIENCE、PHILOSOPHY、GLOBALのうち、「SCIENCE」と「PHILOSOPHY」の中心として、中学校の総合的な学習の時間を「ダ・ヴィンチ」と名付けています。この時間では、課題を発見し、「グループワーク」で仲間と協働して解決し、価値を生み出す「プロジェクトベースドラーニング(PBL)」を行っています。

このような活動を通して、STEAM (Science, Technology, Engineering, Math + Art) 教育を実践し、生徒が批判的に考え、創造的なアプローチで社会に存在する様々な問題に取り組む姿勢を培っています。科学や工学、数学、アート、哲学を個別に学ぶのではなく、生徒たちの探究活動の中で横断的に学ぶ時間です。

(2) NANYO DEPARTURE PROGRAM

TOEFL CHALLENGEでは、本校入学時からAll in Englishでの授業を特別に設置し、英語4技能のうち、特に「話す力」「書く力」(OUTPUT)に重点を置いた学習活動を展開し、中学3年生で英検準2級取得をめざします。

中学2年生ではイングリッシュサファリとして、丸一日ネイティブと交流することで英語でのコミュニケーション能力の向上を図る機会を持ちます。また、授業だけでなく、Lunch Time ChatとしてALTとともに昼食をとる機会を設けています。フィリピンの先生とオンラインレッスンするなど様々な取組を通じてCEFR B1以上を目指します。

また、本校は海外からのホームステイ受け入れ推進校であり、日本にいらながらも国際交流ができる機会に恵まれています。

(3) 学びのアトリエ

主体的に学習することを大切にしており、週に1日、一人一人の学習到達度に応じて学び直しや学び合いのできる時間を設定しています。参加は自由ですが多くの生徒が参加し、苦手教科の克服や発展的な内容に挑戦するなど、自分のスタイルで取り組んでいます。

4 教育課程

中高一貫教育の利点を最大に生かして、中学・高等学校の学習内容を効果的に再構成し、発展的内容を扱うとともに、実験や探究活動等による学び、海外大学進学を見据えた語学力の習得に力を入れつつ、様々な進路実現に向け、高い学力を育成します。

京都府立南陽高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番号	発行者 略称	採 択 理 由
国語	新編 新しい国語	2	東 書	国語科では、思考力、判断力、表現力などを育成し、主体的・対話的で深い学びを引き出す教材の取扱い、また高等学校との関連などの観点から検討し、本書が適切であると考える。 ◇思考力、判断力、表現力などを育成し、主体的な学びを引き出す教材 ・「学びを支える言葉の力」には、学習の導入としてのアニメーションや、教科書で扱っている内容をより詳しく学ぶことのできる「詳しい解説」、理解の定着を図る「練習問題」が二次元コードコンテンツとして用意されている。【別表3】 ◇生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる教材 ・教科書全体を通して、多様な個性を持ったキャラクターが多く設けられ、生徒同士が助言し合ったタイルが貫かれている。問題解決的な言語活動が多く設けられ、生徒同士が助言し合ったり、議論を通して考えを深めたり、互いの考えを活かして結論をまとめたりするなど、協働して学びを深められるように工夫されている。【別表4】 ◇高等学校との関連 ・学習の参考や深化・拡充のための資料は、2次元コードコンテンツとして従来より多く用意されており、十分な学習を展開することができるよう工夫されている。【別表7】
書写	中学書写	38	光 村	書写では、中高一貫教育の教育課程に関連し、「総合的な学習の時間」や他教科との関連、社会生活と関連した内容の取扱い、高等学校との関連などの観点から検討し、本書が適切であると考える。 ◇他教科との関連のある教材 ・他教科との関連がある教材は、教材名の前にマークをつけることで分かりやすく示されており、10教科用意されている。また、内容については防災フェスタや書写用具に関係することなど、SDGsと関連させた題材もみられる。【別表6】 ◇社会生活と関連した内容を取り扱った教材 ・文字を活用した身の回りの多様な表現として、実際に使われているもの（看板など）の写真や実物例を多数示し、「日常に役立つ書式」を取り上げている。【別表5】【別表6】 ◇高等学校との関連 ・伝統的な文字文化教材を7教科取り扱い、「なりきり書聖・王羲之」など発展教材を掲載するなど高等学校芸術科書道との関連を図っている。【別表5】

京都府立南陽高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番号	発行者 略称	採 択 理 由
地理	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土	46	帝国	社会（地理的分野）では、地理的な知識及び技能や思考力、判断力、表現力等の育成などに関する教材の取扱い、中高一貫教育との関連について検討し、本書が適切であると考え。 ◇地理的知識及び技能の育成【別表2】 ・グラフや資料が見やすく掲載されており、内容的にも充実している。 ・「地理にプラス」や「技能を磨く」など、地理的スキルや資料の収集・整理・活用の仕方などを効果的に習得させる工夫がある。 ◇思考力、判断力、表現力等の育成【別表3】 ・各単元に「確認しよう」「説明しよう」を設け、学習内容の定着や言語活動の充実への工夫が見られる上に、各章・節ごとに「学習を振り返ろう」のページを設け、地理的事象を多面的・多角的に捉え、地理の知識や技能を用いて思考・判断し、表現する力を育成する工夫がある。 ◇中高一貫教育との関連【別表1】 ・「NANYO DEPARTURE PROGRAM」では、「日本の伝統や文化を尊重する」態度や「他国を尊重し、異文化を理解する」態度を養うことを目標としているが、日本の文化や伝統の事例が多く取り上げられたり、積極的な現地取材で得られた写真や情報が反映されていたりと、よりその地域の姿を理解しやすい、目標の達成に資する内容になっている。

京都府立南陽高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番号	発行者 略称	採 択 理 由
歴史	中学歴史 日本と世界 改訂版	81	山川	教育基本法及び学習指導要領社会科（歴史的分野）の目標「社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を培う。」に従って、三つの資質・能力、主体的・対話的で深い学びを重点として構成し、学習指導要領に示された内容を習得できるように、小学校の内容及その系統性を図りながらバランス良く選択・配列している。同校の中高一貫教育のねらいに鑑み、本書が適切であると考える。 ◇基礎的・基本的な知識及び技能の習得と定着【別表2】 歴史学習の導入で、時代区分方法を小学校での既習人物を例にまとめている。生徒の興味・関心を引き出すため、導入資料として年表や図版・イラストが掲載されており、歴史の流れや時代の特色をつかむことができるようにしている。また、単元末には記述式でまとめる間が設定されており、基礎的・基本的な知識が確実に定着するよう工夫している。さらに、知識及び技能の習得を図るため、我が国の歴史に関連の深い世界の出来事を適切に取り扱っている。 ◇思考力、判断力、表現力等の育成【別表3】 各章末に、政治・経済や世界とのつながりと変化についてまとめ、振り返る課題が示されており、歴史事象に対する思考力、判断力とそれを表現する力を高めることができるように工夫されている。さらに、各種資料を効果的に配置し、考察を深めるための視点を示し、各見開きに導入の問いとまとめの課題を示している。 ◇生徒が主体的に学習に取り組むことができる配慮【別表4】 生徒が主体的に学習意欲を高めるために、各時代の特徴的な写真や絵画とともに世界地図と年表を取り上げ、日本の歴史を時間軸と空間軸からグローバルに概観し、学習の目的をつかめるようにしている。また、1時間ごとに学習課題を設定し、学習課題を解決する手掛かりとなる見方・考え方を欄外に明示している。さらに、多くのコラムが各年代にバランスよく配置されている。 ◇中高一貫教育との関連【別表1】 高等学校公民科「現代社会」で学習する内容の一部に関連する教材を取り上げている。推薦教科書では、「歴史を考えよう」や「地域へのアプローチ」を設け、生徒の知的好奇心を高めることで、我が国の文化や高等学校での歴史学習への動機付けとなる配慮がなされている。また、歴史学習の視点を「歴史との対話」を通じて、調べ学習の技能を身に付け、言語学習を充実させて、主体的に学習に取り組めるよう工夫されており、中高一貫校での学習を通して、仲間と協働し、探究する活動を展開すること、同校が育てたい人間像「語学力・想像力・哲学を備え、新たな価値を創造する人」の育成に適している。

京都府立南陽高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番号	発行者 略称	採 択 理 由
公民	新編 新しい社会 公民	2	東 書	教育基本法及び学習指導要領社会科（公民的分野）の目標「現代社会の見方・考え方を働かせ、課題を探究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を培う。」に従って、三つの資質・能力、主体的・対話的で深い学びを重点として構成し、学習指導要領に示された内容を習得できるように、小学校の内容及その系統性を図りながらバランス良く選択・配列している。同校の中高一貫教育のねらいに鑑み、本書が適切であると考える。 ◇基礎的・基本的な知識及び技能の習得と定着【別表2】 基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るため、1時間の学習の流れを各項で設定された学習課題について、資料などを活用し、考察することを通して解決し、振り返りができる構成になっている。また、単元のまとめとして、学習した語句を整理することができ課題を設定している。折り合いをつけることに關して、具体的な事例を取り上げている。各章末の「章の学習をふり返ろう」に課題を設定し、学習内容の定着を図る工夫をしている。 ◇思考力、判断力、表現力等の育成【別表3】 思考力、判断力、表現力等の育成を充実させるために、単元を貫く課題を設定し、更に深める課題も設定している。社会的事象を多面的・多角的に考察し、表現力を充実させる工夫として、具体的な事例をあげている。表現活動の充実への工夫として、話し合い活動やディベートを深める手法などを紹介している。 ◇主体的・対話的な学習【別表4】 生徒が主体的・対話的に学習できるように、「みんなでチャレンジ」や「見方・考え方」で課題を設定している。また、様々な題材のコラムで、興味・関心を高めるよう工夫している。 ◇地理・歴史的分野との関連【別表5】 巻頭に地理・歴史的分野との関連を示す資料を掲載している。また、関連するページに「分野関連マーク」や「二次元コード」を示すなど、効果的に学習できるよう工夫をしている。また、他教科等との関連では、教科関連マークで示している。 ◇中高一貫教育との関連【別表1】 「もっと知りたい」や「みんなでチャレンジ」などで、高等学校の「公共」や「政治・経済」につながる内容が取り上げられていること、また、各章末では身近な生活の中で生まれるであろう問題を例にした課題を設定していることから、現代的な諸課題の解決に主体的に取り組む態度を育成することにより同校が育てたい人間像「語学力・想像力・哲学を備え、新たな価値を創造する人」の育成につながると考えられ、適切であると判断する。

京都府立南陽高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番号	発行者 略称	採 択 理 由
地図	中学校社会科地図	46	帝国	地図では、社会科における知識及び技能や思考力・判断力・表現力等の育成などに関する教材の取扱い、中高一貫教育との関連について検討し、本書が適切であると考える。 ◇社会科における知識及び技能の育成【別表2】 ・地図の活用について、記号凡例、地図帳の構成、調べ方地域の特色を調べるポイントを掲載しているなど、使い方をわかりやすく解説されている。 ・地図の読み取りなど地図の活用に関する技能を身に付けさせる工夫や、また、地域の特色を偏らずに理解できるように資料の選定がされている。 ◇思考力、判断力、表現力等の育成【別表3】 ・巻末の統計資料の色分けや地方別合計の掲載、随所に掲載されている主題図、分布図などにより、生徒が資料から思考・判断し、表現できるような工夫されている。 ・同緯度・同縮尺の日本地図を随所に掲載することで世界と日本の大きさや位置関係を把握しやすいよう工夫されている。 ◇中高一貫教育との関連【別表6】 ・資料に世界全体や世界の諸地域の課題を把握できるような工夫がなされており、地理的分野だけでなく、歴史的分野、公民的分野の内容も充実している。また、防災の資料が充実し、環境問題やSDGsも意識されている。このように、STEAM教育を推進している同校に適した内容となっている。

京都府立南陽高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番号	発行者 略称	採 択 理 由
数学	未来へひろがる数学	61	啓林館	数学では、数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、基礎的・基本的な内容の習得を図るための配慮、思考力、判断力、表現力等の育成を図るための配慮、生徒が見通しを持ち、主体的に学習に取り組むことができる配慮、高等学校との関連について検討し、本書が適切であると考える。 ◇基礎的・基本的な内容の習得を図るための配慮 ・「章末問題」に基礎基本の理解の確認を行う「学びをたしかめよう」、巻末に本文の「問」に対応した「もっと練習しよう」を設け、繰り返し練習で知識や技能の習得を図る工夫がある。 ・すべての例題に解説動画が用意され、学びをサポートする二次元コードコンテンツも多数用意されており、ICTを活用しながら個に応じて学びを進める工夫がある。【別表2、3】 ◇思考力、判断力、表現力等の育成を図るための配慮 ・巻末にある「学びを身につけよう」では、基礎基本をもとに発展問題に取り組むことができ、二次元コードで大切なポイントや解説を確認することができる。 ・「数学ライブラリ」では、数学の既習事項と日常生活や他教科を関連させた教材が設けられている。 ・巻末の「学びをいかそう」では、数学を用いて身の回りの問題を解決する課題や、数学を活用して発展・深化する課題が示されている。【別表3、6】 ◇生徒が見通しを持ち、主体的に学習に取り組むことができる配慮 ・各章の導入でデジタルコンテンツを利用して、数学的な活動ができるように工夫されている。 ・学びなおしができるよう、側注に「ふりかえり」を設けている。 ・「例、例題」にもタイトルを付け、復習が行いやすいように工夫されている。 ・巻末にある「学びを身につけよう」では、基礎基本をもとに発展問題に取り組むことができ、二次元コードで大切なポイントや解説を確認することができる。【別表2、4】 ◇高等学校との関連 ・巻末の「学びをいかそう」の「発展マーク」で当該学年の学習指導要領に示されていない内容、高等学校で学習する内容と関連した内容を取り上げている。【別表5】

京都府立南陽高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番号	発行者 略称	採 択 理 由
理科	中学校 科学	11	学図	理科では、基礎的・基本的な内容の定着とともに、思考力、判断力、表現力等の育成を図るための教材の取扱い、更に中高一貫教育との関連について検討し、以下の理由により本書が適切であると考える。 ◇学習指導を進める上で適切な内容や構成 実験・観察・実習を適切に配置し、単元・章の始めに内容に関連する既習事項を示している。単元の初めに必要な実験技能の目標を示し、巻末で基本的な実験操作をまとめて記載している。単元末及び巻末に練習問題を掲載し、索引に適切に基本用語を掲載している。導入や本編内において、生徒自らが課題を見出せる工夫や生徒の興味・関心を高める工夫が凝らされたり、具体例やものの見方・考え方を各ページ下欄に示すことで思考を働かせる工夫を凝らしたり、観察・実験の課題設定から結果考察までの過程を一連に示すことで生徒が見通しをもって取り組めるように工夫したりしている。 実験・観察の結果分析において、科学的に探究する方法が丁寧に記されている。また、学年ごとに段階を踏んで探究的に考える力を身に付けられる構成がなされている。 巻頭や単元の最初に学習の流れを明示するなど、見通しを持って学習に取り組めるよう工夫をしている。主体的に取り組める探究的な学びの場面を提示し、内容の解説や単元末の振り返り問題を記載している。対話的な学習の場面を設けるとともに、適宜キャラクターと吹き出しを用いた対話の具体例を記載している。【別表2、3、4】 ◇使用上の便宜の工夫 ユニバーサルデザイン化に向けた工夫を行っている。また、各ページに設けられた二次元コードから、全ページをウェブページとして再構築した「ミライ教科書」を使用できる。全学年の巻末に資料があり、デジタル教科書がある。【別表7】 ◇中高一貫教育との関連 「発展」と明記した形式で教科書末尾に掲載している。本編に関連した発展的な学習内容や語句の解説、科学的なトピックを、読み物資料を中心として記載している。今日的な課題については、3年の最終単元で集中的に取り扱っている。調べ学習や自由研究、発展的な実験・観察に繋がる内容を記載している。各学年で「SDGs」を意識して脱炭素社会へ「自然の恵みと災害」の項目を設け、持続可能な社会や環境保全、防災・減災に関する内容を取り扱っている。【別表5、6】

京都府立南陽高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番号	発行者 略称	採 択 理 由
音楽一般	中学生の音楽	27	教芸	教育基本法及び学習指導要領音楽科の目標に従って、生活や社会の中の音や音楽との関わり、三つの資質・能力、主体的・対話的で深い学びを重点として構成し、学習指導要領に示された内容・配列している。我が国や諸外国の伝統や文化、国際理解の視点を重視した中高一貫校としてのねらいに鑑み、本書が適切であると考え。 ◇学習指導要領の目標達成のための工夫【別表1、2】 ・1年間の学習内容と三つの資質・能力との関連をマトリックス表で示し、学びの見通しを持つことができるよう構成を工夫している。また、全教材の左端に目標及び音楽を形づくっている要素を示し、知覚と感受の関わりを考えることができるよう紙面を工夫している。 ・音楽と生活、社会、文化などとのつながりがりや音楽の価値を考える題材を巻頭に示し、社会とつながりがりの視点を深い学びに対応した工夫【別表3、4】 ◇主体的・対話的で深い学びに対応した工夫【別表3、4】 ・教師役のキャラクターによる課題提示や助言、生徒役のキャラクターによる疑問や気付きなどの吹き出しを随所に配置し、思考力・判断力・表現力等の育成を図り、主体的な課題解決のきっかけとなるよう工夫している。また、歌唱分野の表現の工夫や、鑑賞分野の曲想と音楽の構造との関わりなどについての考えを書き込むワークシートを提示しながら、対話的に学ぶ活動例を示している。 ◇我が国や諸外国の伝統や文化、国際理解の視点を重視した内容構成【別表1、6】
音楽 器楽	中学生の器楽	27	教芸	教育基本法及び学習指導要領音楽科の目標に従って、生活や社会の中の音や音楽との関わり、三つの資質・能力、主体的・対話的で深い学びを重点として構成し、学習指導要領に示された器楽分野などの内容を習得できるように器楽教材を精選して小学校の内容と系統性を図っている。各楽器の奏法の写真や二次元コードでわかりやすく示し、教材を基礎的な楽器は、五線譜と伝統的に使用してきた楽譜の二種類を併記し、口唱歌を添えている。また音楽一般の教材と関連させ、教材も多く、表現と鑑賞を一体的に学べるよう工夫している。我が国や諸外国の伝統や文化、国際理解の視点を重視した中高一貫校としてのねらいに鑑み、本書が適切であると考え。 ◇学習指導要領の目標達成のための工夫及び基礎的な技能を身に付けることができる適切な教材配置【別表1、2】 ・1年間の学習内容と三つの資質・能力との関連を「学びの地図」のマトリックス表で示し、楽器をリコーダー・三味線・太鼓・篠笛・尺八・打楽器・アンサンブルの順に配列し、奏法を写真や二次元コードによってわかりやすく示している。 ◇主体的・対話的で深い学びに対応した工夫【別表3、4】 ・「学びのコンパス」で曲の構成やパートの役割を考えて対話的に学ぶ例を示している。またすべての教材に二次元コードを配置して模範演奏を示し、主体的な学びに対応している。 ◇我が国や諸外国の伝統や文化、国際理解の視点を重視した内容構成【別表1、6】 ・各和楽器奏者からのメッセーや楽器を演奏する姿勢や奏法、礼儀作法など、背景となる文化や歴史などについて幅広く掲載している。巻頭の「音楽って何だろう？」では世界のさまざまな

京都府立南陽高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番号	発行者 略称	採 択 理 由
美術	美術	116	日文	美術科では、学習指導要領に示す目標の達成のための工夫、基礎的・基本的な内容の定着を図るための配慮、生徒の主体性や学習意欲を喚起する配慮などの観点からの検討し、本書が適切であると考える。 ◇学習指導要領に示す目標の達成のための工夫 ・学習指導要領の目標に基づいた内容をバランス良く取り上げ、資質・能力を育成できるよう工夫されている。 ・発達の段階に応じて学びが獲得できるよう、系統性に配慮し構成している。「美術1」は身近なものを対象にし、「美術2・3上」では多様な表現に触れ、「美術2・3下」では自己を掘り下げていく題材が設定されている。 ・表現する活動を主にした題材においても、表現と鑑賞が一体的に学習できるように配慮がされ、かつ多様な授業展開ができるよう工夫されている。【別表1】 ◇基礎的・基本的な内容の定着を図るための配慮 ・各巻末の資料ページは題材に対応し、基本的な用具の使い方や技法、色彩の基本、材料について、知識、美術史の資料などを掲載し、基礎的・基本的な内容の定着を図れるよう工夫されている。 ・「技法・用具」についてのデジタルコンテンツが準備され、二次元コードから技法などを動画で確認することができるよう構成されている。 ・「生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力」を育成するために、特設ページや資料ページを設けている。【別表1、2、7】 ◇生徒の主体性や学習意欲を喚起する配慮 ・各題材に「学びの目標」を設定し、育成すべき資質・能力が生徒にも理解しやすい言葉で示され、主体的に取り組めるよう工夫されている。 ・題材を貫く主発問となる「鑑賞の入り口」を設け、活動のねらいを理解し、生徒が自分なりの問いを生み出し、探求的に学習を深められるよう工夫している。 ・原寸大図版など鑑賞を深めるページが用意され、高等学校芸術科の学びへの意欲関心を高める工夫がある。【別表1、3、4、7】

京都府立南陽高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番号	発行者 略称	採 択 理 由
保健 体育	最新 中学校保健体育	50	大修館	各章ごとに「章のまとめ」を配置し、学習内容の振り返りと発展的な学習ができるように工夫している。また、各章ごとに小学校で学習したことや高等学校で学習することを関連付けて示している。従って、中高一貫校の特色ある教育を推進するには、本書が適切であると考える。 ◇基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮【別表2】 「つかむ」「身につける・考える」「まとめる・振り返る」の流れに沿って学習を進めることで、基礎的・基本的な知識及び技能を習得できるように配慮している。また、小單元ごとに二次元コードから係体クイズを読み込み、知識の習得状況を確認することができているように配慮している。 ◇思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮【別表3】 「つかむ」では、多様な導入活動を提示し、学習課題につながる気付きや思考を促すように発問を工夫している。また、各章末の「章のまとめ」に、学んだことを活用して次の問題に取り組むことができるように、『思考・判断・表現』の問題が配置されている。 小單元ごとの「学習のまとめ」では、学んだことを自分自身や周囲の人などにどのように生かしていくか考えることで、思考力・判断力・表現力等が高められるよう配慮している。 ◇生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮【別表4】 「課題をつかむ」では、学習の見通しや興味・関心を持って臨むことができるように、学習項目の構成や導入活動などを工夫し、主体的に学習に取り組むことができるように配慮している。また、「学習のまとめ」では、学習したことを基に、グループで意見を出し合ったり、話し合ったり、発表する場面を設け、対話的に学習に取り組むことができるように配慮している。 ◇学習指導要領に示していない内容の取扱い【別表5】 「資料」「保健の窓」「特集資料」「コラム」で発展的な内容の資料や学習課題について取り扱っている。 ◇他の教科等との関連【別表6】 理科、社会、技術・家庭の内容と関連する学習課題や資料を本文中に取り扱っている。 ◇表記・表現の工夫【別表7】 資料としてイラスト、グラフ、写真、表などを適切に配置し、学習内容が深められるように工夫している。学習内容を広げたり、深めたりするために、「コラム」「事例」「事例」「特集資料」のページを用意している。巻末に用語解説がある。関連する本文ページをマークで示していたり、本文中に資料と関連付ける印がある。 知識の確認と活用のために、「章のまとめ」のページを用意している。また、ユニバーサルデザインに配慮された文字、色、レイアウトとなっている。

京都府立南陽高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番号	発行者 略称	採 択 理 由
技術	新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology	2	東書	技術・家庭科（技術分野）では、以下の観点から検討し、本書が適切と考える。 ◇学習指導要領に示す目標の達成のための工夫【別表1】 ガイダンス的内容に関する資料のページでは、問題解決のプロセスが整理されている。 「見方・考え方」については、ガイダンスにおいて「技術のめがね」「最適化の窓」で社会における技術を見ることができ、各編の導入において、身の回りの製品を取り上げ、既存の技術の工夫を読み取ることができよう工夫されている。 学習内容が、身の回りの問題解決から社会の問題解決まで幅広く収載されている。統合的な問題解決については、具体例が掲載されている。 ◇基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮【別表2】 基礎的・基本的な知識や技能については「技術のとびら」「TECH Lab」でまとめられている。 安全については巻頭に「作業を安全に楽しく進めよう」が示されており、各章での安全や衛生のポイント「安全」マーク、「衛生」マークを付けて、生徒の注意を喚起している。 ◇思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮【別表3】 問題解決例のページは、問題解決のプロセスに沿った紙面構成となっており、自らの問題解決に主体的に取り組むことができるようになっている。 ◇生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮【別表4】 各編末には「学習のまとめ」のページがあり、評価の観点である「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」について、学習内容の定着を確認できるようにしている。 各編の最終章には、持続可能な社会の構築に向けて、生徒自身が考えられるようなワークシートが掲載されている。

京都府立南陽高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番号	発行者 略称	採 択 理 由
家庭	新 技術・家庭 家庭分野 暮らしを創造する	6	教図	技術・家庭科（家庭分野）では、基礎的・基本的な知識及び技能の習得や思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮、生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮、学習指導要領に示していない内容の取扱い、他の教科等との関連、表記・表現の工夫の観点から検討し、本書が適切と考える。 ◇学習指導要領に示す目標の達成のための工夫 ・生徒が身近な生活の中から見方・考え方の視点を通して気付きを得たり、問題解決的な学習に取り組むことができるように配慮されている。また、各内容を体系的にとらえて学習できるように工夫されている。【別表1】 ◇基礎的・基本的な知識及び技能の習得や思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮 ・実践的・体験的な活動例を取り入れ、手順も分かりやすく示されている。また、授業や家庭でのフィードバックの際に利用しやすい。【別表2】 ・生徒が生活を見つめるきっかけや、自分ごととして考えるための導入に取り組むことで、学習と生活を結び付けることができるように工夫されている。また、明確な手順で問題解決的な学習を進めることができ、学習を繰り返すことで、課題を解決する力が身につくように配慮されている。【別表3】 ◇生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮 ・さまざまな実践的・体験的な活動があり、主体的に考えたり、話し合ったりすることで、生徒がより学習を深めることができるように工夫されている。【別表4】 ◇学習指導要領に示していない内容の取扱い、他の教科等との関連 ・資料・発展などの項目で現代的な課題や発展的な内容を取り上げ、生徒の理解度や興味・関心に応じて、学習を進めることができる。【別表5】 ・他教科や特別の教科 道徳、小学校等の学習内容との関連性を示し、生徒が見通しをもった学習ができるように工夫されている。【別表6】 ◇使用上の便宜の工夫 ・表記や表現が、ユニバーサルデザインフォントを使用し、カラーユニバーサルデザインにも配慮されている。また学習の場面で効果的に活用できるデジタルコンテンツが豊富に掲載されている。【別表7】

京都府立南陽高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番号	発行者 略称	採 択 理 由
英語	BLUE SKY English Course	61	啓林館	英語では、学習指導要領の示す目標に従い、各Unitの構成の特徴や内容、4技能をバランスよく学習するための創意工夫、生徒が主体的に学習に取り組むための配慮、中高一貫教育を踏まえた適切な語いや語数、デジタル教材や音声教材について検討し、本書が適切であると考え。 ◇各Unitの構成の特徴や内容 ・各小単元の扉に各Partの目標を「～できる」という文で明示され、Q&Aで英語による導入がしやすい構成となっている。【別表1】 ・4技能の活動がバランスよく構成され、基本的な文を学ばせている。各学期末に統合的な活動を入れ、学習内容を活用し、発信活動を行わせる工夫をしている。【別表1】 ◇4技能をバランスよく学習するための創意工夫 ・各Unitの導入部分の効果的なリスニング活動やスピーキング活動により、リーディング活動に意欲的につなげる工夫がされている。【別表2】 ・リーディング活動後に内容理解のための練習問題や学習内容を定着させるためのライティング活動や、自ら考え、表現する力を養うスピーキング活動が効果的に設定されている。【別表3】 ◇スピーキングの活動内容がペアワークなどのやり取りやプレゼンテーションなどの発表に適したものとなるように工夫されている。【別表3】 ◇生徒が主体的に学習に取り組むための配慮 ・新出語句のチェック欄や音読回数の記入欄など、主体的に学習に取り組めるように工夫がされている。【別表4】 ・自学自習のためのヒントやCAN-DOリストが効果的に設定されている。【別表1、4】 ◇中高一貫教育を踏まえた適切な語いや語数 ・リーディング活動で使用する本文の語数や文法事項の精選と配列が適切である。【別表2】 ・3年次で高等学校の学習内容に接続できるような発展的内容を扱っている。【別表5】

京都府立南陽高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番号	発行者 略称	採 択 理 由
特別の教科 道徳	新編 新しい道徳	2	東書	特別の教科 道徳科では、全体としての特徴や創意工夫、道徳的諸価値についての理解を深める工夫、生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮、中高一貫教育における効果について検討し、本書が適切であると考ええる。 1 全体としての特徴や創意工夫 (1) 教材で考えた内容を、コラムで更に深めさせる工夫がある。 (2) 学びを深める QR コンテンツが全ての教材に掲載されている。 2 道徳的諸価値についての理解を深めるための工夫 (1) 各教材末に「考えよう」「見つめよう」といった、内容項目について生徒に考えさせる発問と、それをもとに自己を振り返らせる発問を明確に分けて示している。 3 生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮 (1) 「考えよう」で考える視点を示し「見つめよう」で自分とのつながりを考えさせている。 (2) 「いじめ」などに関する資料では複数教材を用いて、考えたりグループで話しあったりする問題解決的な学習を取り扱っている。 (3) 生徒が考えたことを即座に書き込める「つぶやき」欄や、直接書き込みながら考えを深められる教材がある。 4 中高一貫教育における効果 (1) 他教科や総合的な学習の時間、特別活動等と関連のある教材が多く、すべての教育活動で道徳教育を進めることができる工夫がある。 (2) いじめ問題や国際理解教育等、現代的課題に関する教材が工夫されている。 (3) キャリア教育の教材を中心に高等学校での学びに繋がる内容が取り上げられている。